

一般国道 2 号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）

一般国道 2 号 笠岡バイパス

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県浅口市金光町佐方 おかもやけんあさくちしこんこうちようさがた おかもやけんかさおかにしおおしましんでん 至：岡山県笠岡市西大島新田				延長	9.4 km
事業概要						
一般国道2号は、大阪市を起点とし、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）は、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長9.4kmの道路である。また、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成するものである。						
H20年度事業化		H12年度都市計画決定		H24年度用地着手		H24年度工事着手
全体事業費		約529億円	事業進捗率 (H28年度末見込み)	12%	供用済延長	0.0km
計画交通量		43,700 ～ 44,700 台/日				
費用対効果 分析結果		B/C (3便益) (事業全体) 3.5 (残事業) 3.8	総費用 (残事業)/ (事業全体) 379 / 405 億円 事業費：343/368 億円 維持管理費：37/37 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 1,430 / 1,430 億円 走行時間短縮便益：996/996 億円 走行費用減少便益：306/306 億円 交通事故減少便益：128/128 億円	基準年 平成25年	
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=2.8～4.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.0～4.5 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.3～3.9 (事業費±10%) 事業費：B/C=3.5～4.1 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.3～3.8 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.5～4.1 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる【95,111千人・時間/年⇒92,824千人・時間/年 約2%削減】 ・バス路線の新設による利便性向上や井原市・笠岡市から大阪方面に向かうバス路線の定時性が確保されるなど利便性が向上 ・笠岡市から岡山空港（第三種空港）へのアクセスが向上【笠岡市役所～岡山空港：125分⇒122分】 ②物流効率化の支援 ・笠岡港港町地区工業団地から水島港（国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾）へのアクセスが向上【笠岡港港町地区工業団地～水島港：52分⇒33分】 ・農林水産品を主体とする地域：浅口市（白桃）、主な出荷先：岡山県内、広島方面 ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけられている ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する（倉敷市～福山市） ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上【里庄町役場～倉敷市役所：35分⇒31分】 ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する（浅口市工業団地造成整備事業） ・主要な観光地へのアクセス向上【倉敷美観地区の入込み客数（H26）：3,065千人/年】 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・周辺ネットワークとの一体的な整備による三次医療施設へのアクセス向上 【浅口市寄島総合支所～川崎医大付属病院：39分⇒38分】 【浅口市寄島総合支所～福山市民病院：34分⇒31分】 ⑥安全な生活環境の確保 ・死傷事故件数の削減【9,709件/年⇒9,628件/年 約0.8%削減】 ⑦災害への備え ・山陽自動車道、国道2号が岡山県地域防災計画における第1次緊急輸送道路として位置づけあり ⑧地球環境の保全 ・CO2排出削減量が約22千t/年（約0.6%）削減【3,563千t/年⇒3,541千t/年】 ⑨生活環境の改善・保全 ・NOx排出削減量が約107t/年（約1.1%）削減【9,363t/年⇒9,257t/年】 ・SPM排出削減量が約6t/年（約1.3%）削減【485t/年⇒478t/年】 ・騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間において、要請限度を下回ることが期待される						

⑩環境への影響を考慮した結果
・約22千t/年のCO2削減【10億円※】

※ 供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

⑪他のプロジェクトとの関係

・「晴れの国おかやま生き生きプラン(H26.4)」、「浅口市総合計画後期基本計画(H24.3)」等、に位置づけられている

関係する地方公共団体等の意見

玉島・笠岡道路(Ⅱ期)は、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、3市1町(倉敷市、浅口市、笠岡市、里庄町)から構成される「国道2号玉島笠岡間整備促進協議会」より、早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)について、継続するとの対応方針(原案)は妥当である。
国道2号の慢性的な渋滞の緩和、県南西地域から福山地域までの物流ネットワークの強化や沿線地域の活性化を図るため、本事業の早期完成を強く求める。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

周辺開発の増進に伴い、慢性的な渋滞や交通事故が多発している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成28年度末で事業全体の進捗率は12%となる見込みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計、用地買収、工事推進を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

対応方針(原案)

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析、環境改善効果等に係る項目は、平成25年度再評価時点。

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 笠岡バイパス			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県笠岡市西大島新田 至：岡山県笠岡市茂平					延長	7.6 km
事業概要							
一般国道2号は、大阪市を起点とし、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。 笠岡バイパスは、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長7.6kmのバイパスである。また、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成するものである。							
S63年度事業化		S63年度都市計画決定		H2年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費		約300億円		事業進捗率 (H28年度末見込み)		54% 供用済延長 3.3 km	
計画交通量		34,400 ~ 37,800 台/日					
費用対効果 分析結果		B/C (3便益) (事業全体) 3.5 (残事業) 9.1		総費用 (残事業)/(事業全体) 118 / 345 億円 事業費：105/316 億円 維持管理費：12/29 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 1,066 / 1,199 億円 走行時間短縮便益：842/941 億円 走行費用減少便益：153/178 億円 交通事故減少便益：72/80 億円	
						基準年 平成25年	
感度分析の結果							
(事業全体) 交通量：B/C=3.0~4.0(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=7.6~10.6(交通量±10%) 事業費：B/C=3.4~3.6(事業費±10%) 事業費：B/C=8.3~10.0(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.2~3.7(事業期間±20%) 事業期間：B/C=8.4~9.7(事業期間±20%)							
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる【95,572千人・時間/年⇒92,824千人・時間/年 約3%削減】 ・バス路線の新設による利便性向上や笠岡市街地を利用するバス路線の定時性が確保されるなど利便性が向上 ・里庄町から福山駅（新幹線駅）へのアクセスが向上【里庄町役場～福山駅：47分⇒45分】 ②物流効率化の支援 ・笠岡港港町地区工業団地から水島港（国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾）へのアクセスが向上【笠岡港港町地区工業団地～水島港：52分⇒33分】 ・農林水産品を主体とする地域：笠岡市（花き）、主な出荷先：岡山県内、京阪神方面 ③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高企画道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけられている ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する（倉敷市～福山市） ④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する（笠岡市笠岡湾干拓地域バイオマスタウン構想） ・主要な観光地へのアクセス向上【倉敷美観地区の入込み客数（H26）：3,065千人/年】 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・周辺ネットワークとの一体的な整備による三次医療施設へのアクセス向上【寄島総合支所～福山市民病院：34分⇒31分】 ⑥安全な生活環境の確保 ・死傷事故件数の削減【9,694件/年⇒9,628件/年 約0.7%削減】 ⑦災害への備え ・山陽自動車道、国道2号が岡山県地域防災計画における第1次緊急輸送道路として位置づけあり ⑧地球環境の保全 ・CO2排出削減量が約12千t/年（約0.3%）削減【3,553千t/年⇒3,541千t/年】 ⑨生活環境の改善・保全 ・NOX排出削減量が約76t/年（約0.8%）削減【9,333t/年⇒9,257t/年】 ・SPM排出削減量が約4t/年（約0.9%）削減【482t/年⇒478t/年】 ・騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間において、要請限度を下回ることが期待される ⑩環境への影響を考慮した結果 ・約12千t/年のCO2削減【5億円※】							
※ 供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）							

⑪他のプロジェクトとの関係

・「晴れの国おかやま生き生きプラン（H26.4）」、「第6次笠岡市総合計画後期基本計画（H26.4）」等、に位置づけられている

関係する地方公共団体等の意見

笠岡バイパスは、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、3市1町（倉敷市、浅口市、笠岡市、里庄町）から構成される「国道2号玉島笠岡間整備促進協議会」より、早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

事業を継続する対応方針（原案）は妥当である。

著しく渋滞している国道2号の渋滞緩和は、企業活動をはじめとする生産性の向上に直結するため、非常に重要である。

県としては、アクセス道路の整備に全力で取り組むとともに、笠岡港（港町地区）の工業用地や笠岡湾干拓地へ新たな企業の進出が決定している状況であり、これらの企業の生産性の向上や、笠岡港（港町地区）工業用地への企業側のさらなる立地判断の後押しのためにも、事業をより一層加速化し、一連の玉島・笠岡道路とともに、供用年次を早期に明示していただきたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

笠岡湾沿岸部工業地帯の産業振興や笠岡湾干拓地域のバイオマスタウン構想等により、沿線地域において更なる交通需要が見込まれる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成28年度末で事業全体の進捗率は54%となる見込みである。現在までに、「笠岡市西大島新田～笠岡市入江（L=0.4km）」及び「笠岡市カブト南町～笠岡市港町（L=2.9km）」間の側道部が開通済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、事業を推進していく。

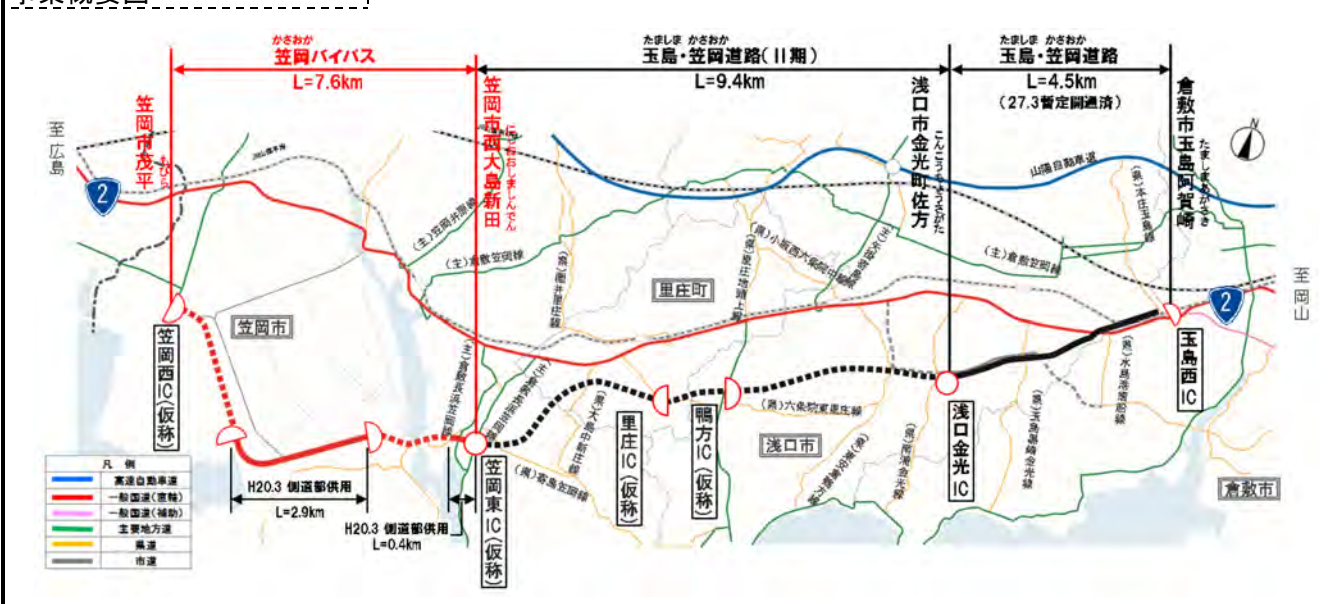
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。

※ 費用対効果分析、環境改善効果等に係る項目は、平成25年度再評価時点。

たまし かさおか
一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
かさおか
一般国道2号 笠岡バイパス
事業再評価 要点審議

平成28年8月

国土交通省 中国地方整備局

1. 事業概要

(2) 事業目的と計画概要・経緯

【目的】 岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、周辺地域の連携強化。

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

計画概要

事業名	かきおか 笠岡バイパス	たましま かきおか 玉島・笠岡道路 (Ⅱ期)
起 終 点	起点：岡山県笠岡市西大島新田 おかやまけんかきおかしにしのおおしましんでん 終点：岡山県笠岡市茂平 おかやまけんかきおかしおしましんでん	起点：岡山県浅口市金光町佐方 おかやまけんあさくちしこんこうしょうさた 終点：岡山県笠岡市大島新田 おかやまけんかきおかしおしましんでん
計画延長	7.6km	9.4km
道路規格	第1種第3級	第1種第3級
設計速度	80km/h	80km/h
車線数	4車線	4車線
都市計画決定	昭和63年8月	平成12年8月
事業着手	昭和63年度	平成20年度
用地着手	平成2年度	平成24年度
工事着手	平成10年度	平成24年度
全体事業費	約300億円	約529億円

開通した玉島・笠岡道路の状況



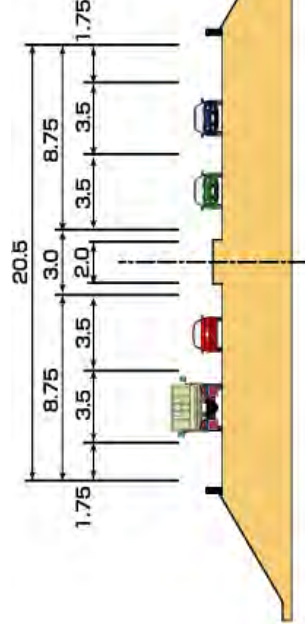
【写真】開通後の状況 H27.4.8 (水)

玉島・笠岡道路(【玉島西IC】(倉敷市玉島阿賀崎)～【浅口金光IC】(浅口市金光町佐方))は平成27年3月に延長4.5kmが暫定2車線で開通。

標準断面図

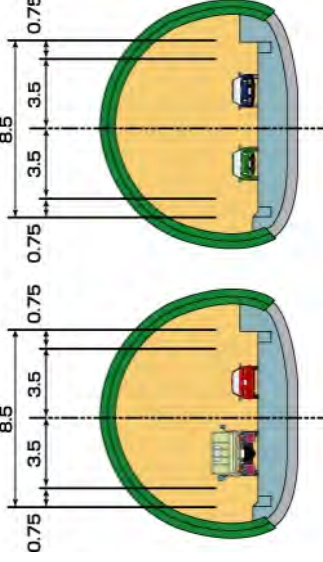
■土工部

(単位:m)



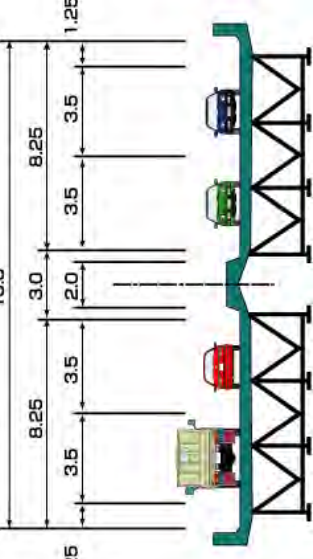
■トンネル部

(単位:m)



■橋梁部

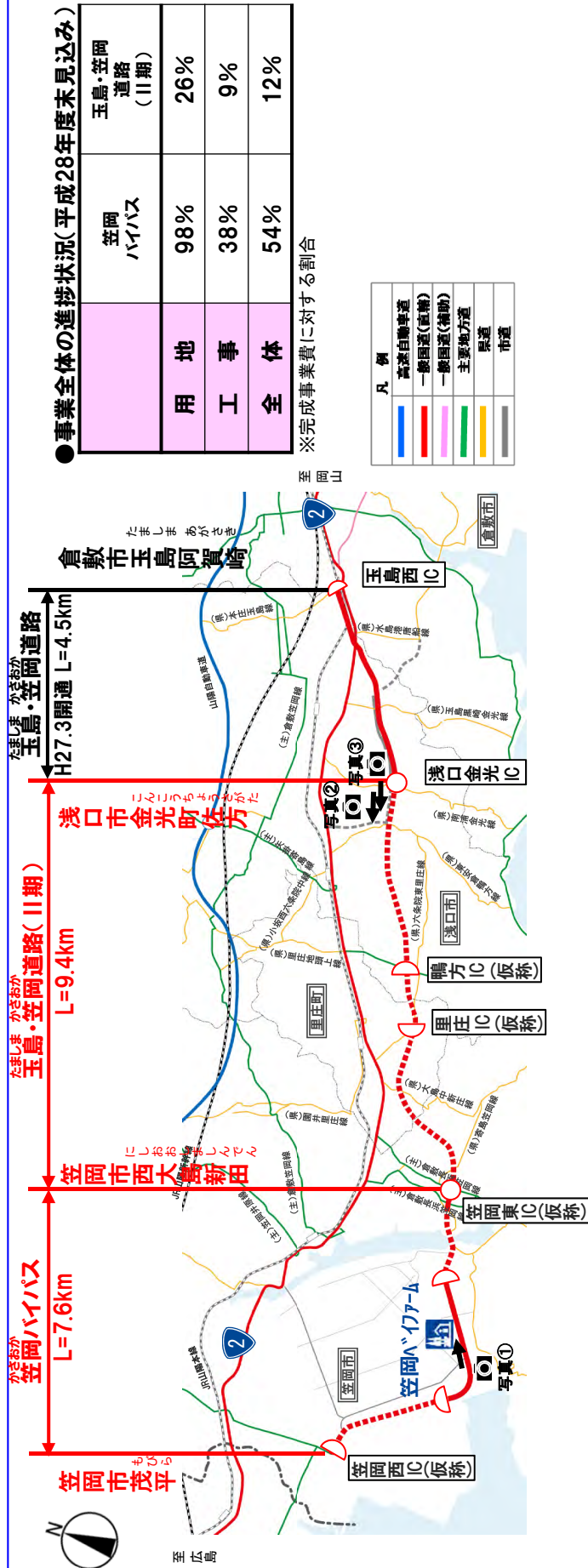
(単位:m)



1. 事業概要

(3) 事業の進捗状況

- 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)は用地買収、工事を推進している。
- 笠岡バイパスは用地買収を推進している。



【写真①】道の駅「ベイファーム」付近から
浅口市方面を望む



【写真②】浅口市鶴方町六条院東(橋梁上部工事)
の進捗状況



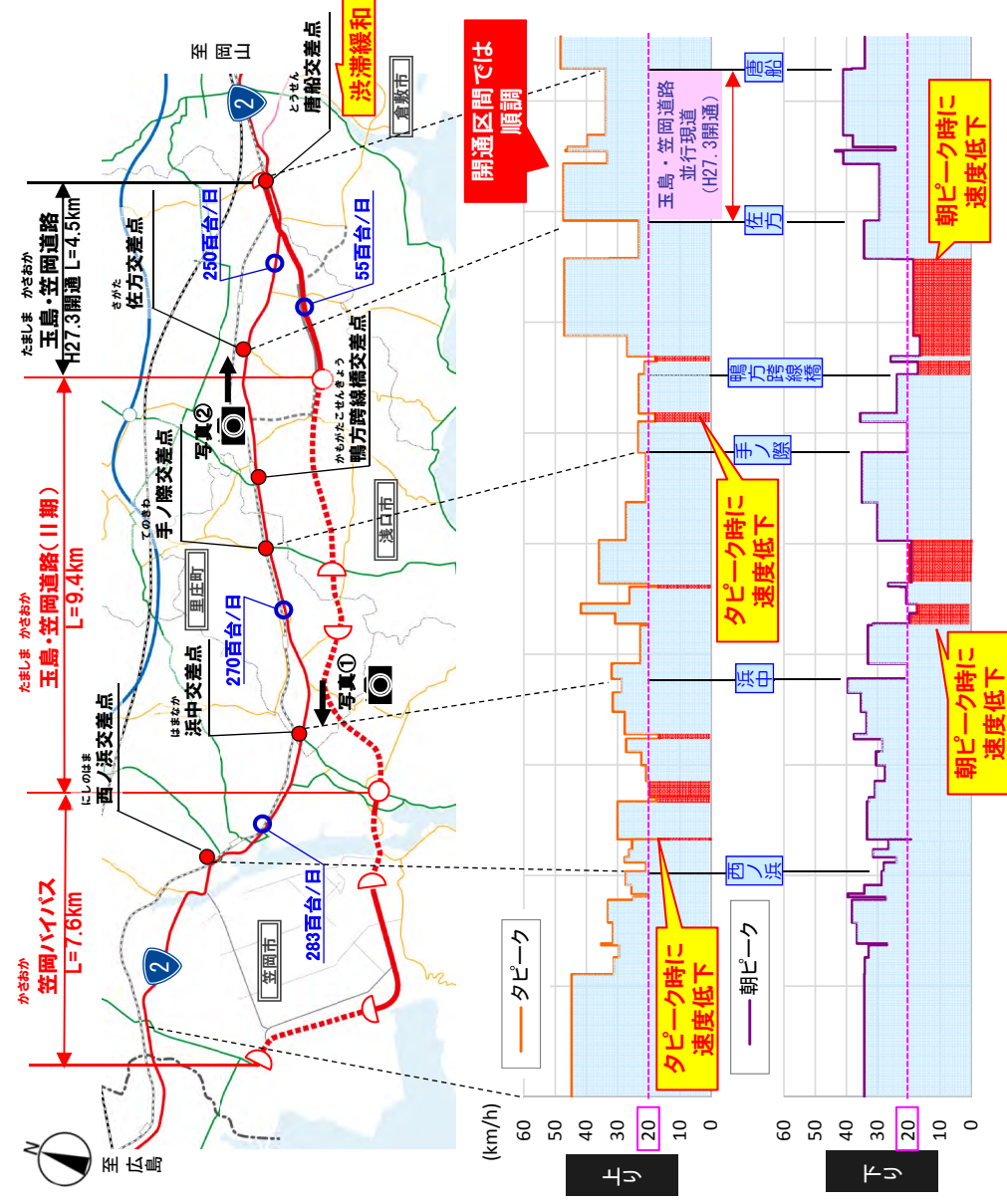
【写真③】浅口市金光町佐方内(改良工事)
の進捗状況

2. 事業の必要性

(1) 現状の課題

① 渋滞

・玉島・笠岡道路が開通し、唐船交差点の渋滞が緩和されたが、依然として朝タピーク時を中心に主要交差点付近で旅行速度が大きく低下している。



浜中交差点の状況(写真①)



撮影日：H28.6.9 (木)

佐方交差点の状況(写真②)



撮影日：H28.5.24 (火)

2. 事業の必要性

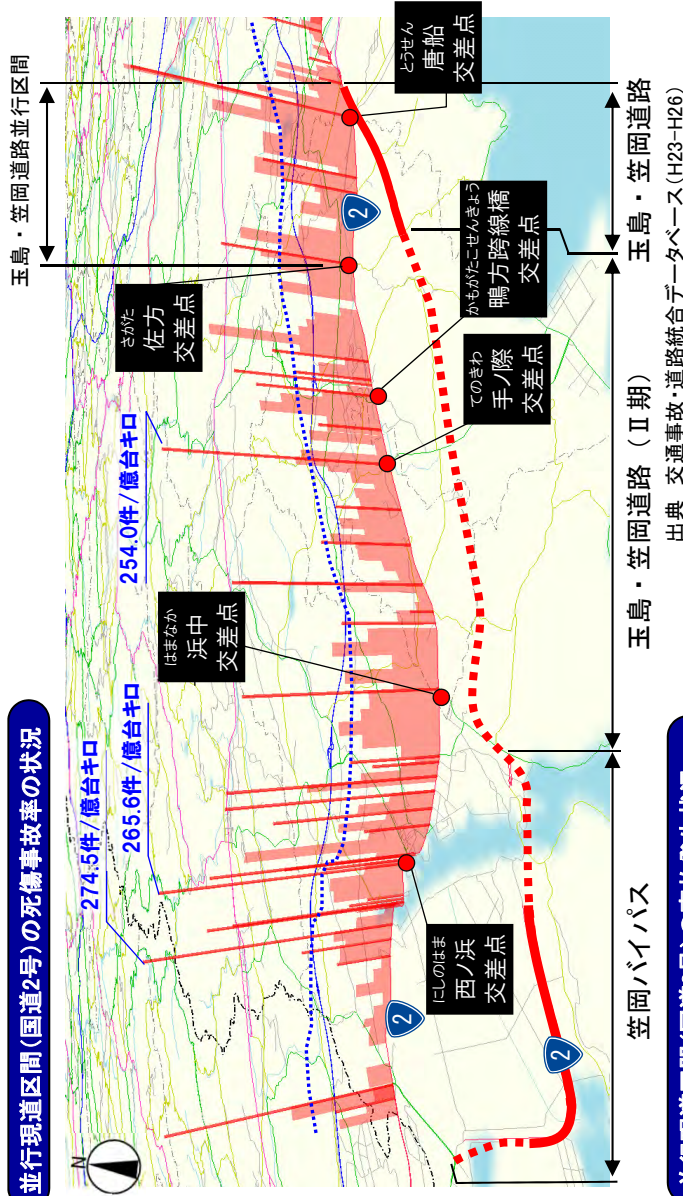
(1) 現状の課題

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

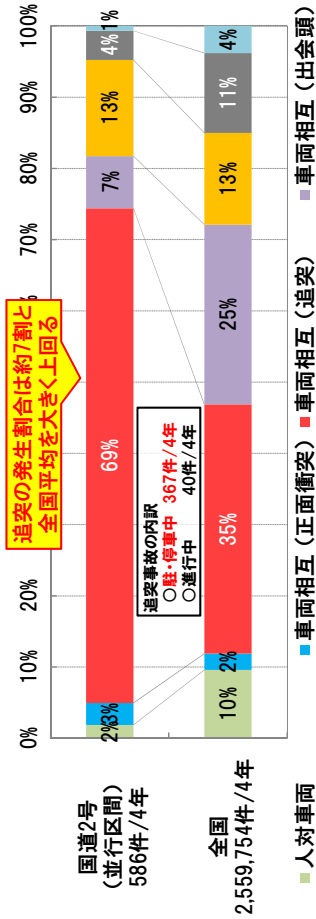
②交通事故

・死傷事故のうち約7割が追突事故であり、渋滞が起因していると思われ、全国平均より高い発生状況。

並行現道区間(国道2号)の死傷事故率の状況

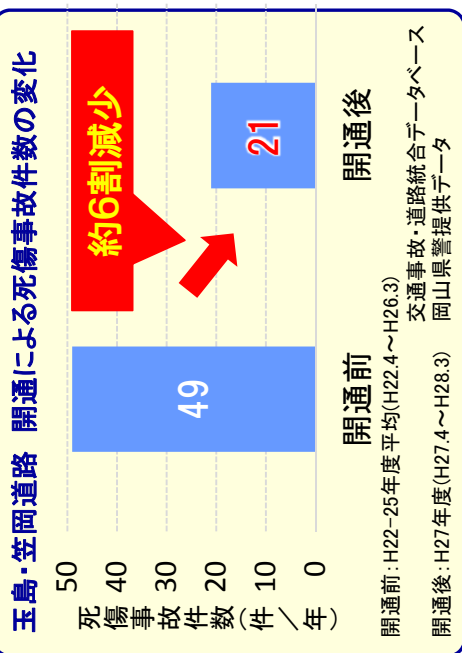


並行現道区間(国道2号)の事故発生状況



■ 車両相互(正面衝突) ■ 車両相互(追突) ■ 車両相互(出会頭)
■ 車両相互(右左折) ■ 車両相互(その他) ■ 車両単独

出典: 交通事故・道路統計 ITARDA 刊行 (H23-H26)
注: 駐・停車中とは、前車が信号待ち、貨物の積卸し等のため駐・停車した場合で、前進(前進)してきた車両が前車の後部に衝突した場合をいう。



【凡例】
■ 死傷事故率(交差点)
■ 死傷事故率(車道)
■ 死傷事故率(全国平均値: 97.5件/億台キロ)
■ 主要渋滞箇所 ※平成25年1月25日公表

浅口市金光町付近で発生した交通事故



撮影日: H25.4.19

③周辺地域の連携

・沿線市町のマスタープラン(浅口市(H27.3)、里庄町(H18.3)、笠岡市(H27.4))における連携支援の位置付けは変更されていない。

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

H27年3月の玉島・笠岡道路（1期）開通に伴うアクセス性向上により、『浅口工業団地』では、新たな企業立地が実現。

玉島・笠岡道路、笠岡BPの整備による新たな道路ネットワークの構築により、物流の大動脈としてより一層機能することが期待。

【臨海】

- 固地面積:23万9,751㎡
(分譲率100%)
- 立地事業所:9社
- 主要事業所:(株)エフピコアル
イト、(株)川上製作所等

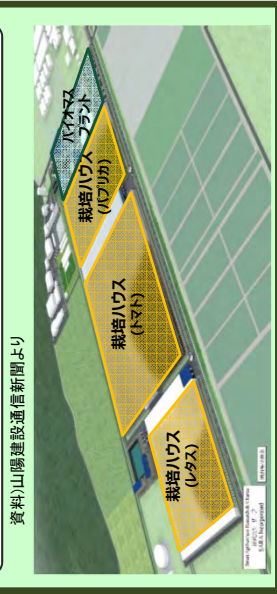
【内陸】

- 固地面積:22万9,763㎡
(分譲率100%)
- 立地事業所:20社
- 主要事業所:ヒルタ工業(株)、井
原精機(株)、甲神電機(株)等

- 11社 操業中
- 工業工区の一部を旅客・貨物の取り扱いが可能な商港区に用途変更
- 商港区で1社、工業港区で1社の企業進出が内定
- 分譲面積: 23万4,234㎡
(分譲率約22%)



- (株)サラ H30年7月 操業予定
- 従業員数:30～50名
- トマト:3,800t/年、レタス:1,300t/年ほか
- バイオマス発電:販売電力7万1000MH/年
- 敷地面積:18万3,199㎡

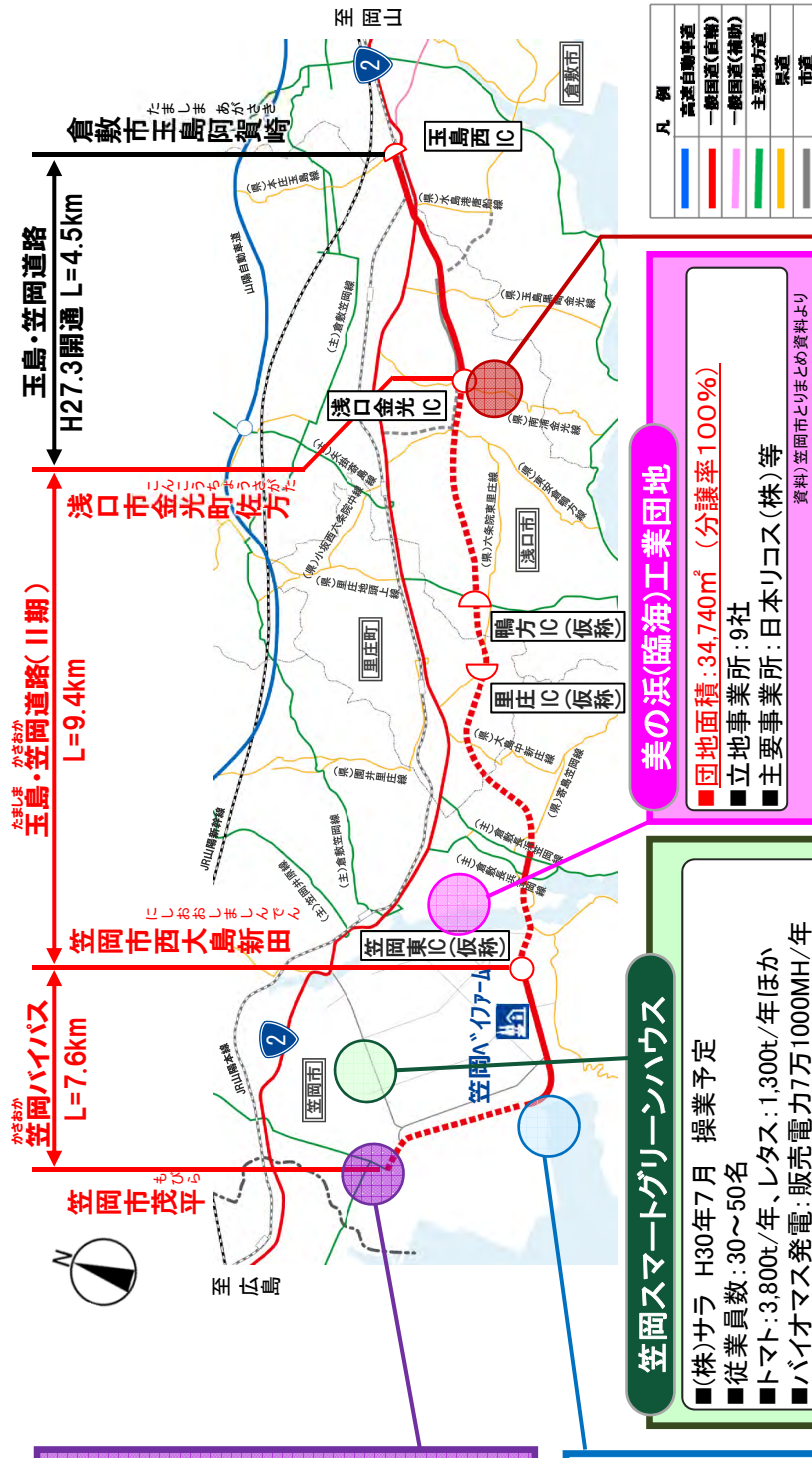


- **団地面積**: 34,740m² (分譲率100%)
- **立地事業所**: 9社
- **主要事業所**: 日本リコス(株)等



■浅口金光IC周辺に計画され、平成27年
度から一部造成および分譲開始
■H27年7月に医薬品等の受諾製造販売
の**明星産商(株)**が**現在造成地全てを取得**、従業員数90名(うち30名が新規雇用)
で平成30年4月操業予定

資料)浅口市HPおよび新聞報道より



3. 今後の対応方針(原案)

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

(1) 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇社会情勢等に変化がない。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)=3.5(事業全体) 3.8(残事業) ※H25年度再評価時

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果[約22千トンのCO2削減]【+10億円】※1、※2

玉島・笠岡道路(Ⅱ期)整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定

②重症患者の救急搬送時間短縮[例]寄島総合支所～川崎医科大学付属病院までの所要時間短縮約1分※3

寄島総合支所～福山市市民病院までの所要時間短縮約3分※4]

③交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保

④物流効率化の支援[例]笠岡港港町地区工業団地～水島港までの所要時間短縮約19分※5]

⑤沿道環境の改善[NOX排出量:約107t/年(1.1%)削減、SPM排出量:約6t/年(1.3%)削減]

※1【 】は、開通後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該道路の開通に影響を受けるエリアを対象に算定

※3 玉島・笠岡道路および玉島・笠岡道路(Ⅱ期)を利用した場合

※4 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)および笠岡バイパスを利用した場合

※5 玉島・笠岡道路、玉島・笠岡道路(Ⅱ期)、笠岡バイパスを利用した場合

3) 事業の進捗状況

◇平成28年度末で事業全体の進捗率は12%となる見込みである。

②事業の進捗見込み

◇現在、調査設計、用地買収、工事推進を行っており、早期開通を目指し事業を推進する。

③コスト削減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト削減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

◇岡山県知事の意見:

事業を継続する対応方針(原案)は妥当である。

著しく渋滞している国道2号の渋滞緩和は、企業活動をはじめとする生産性の向上に直結するため、非常に重要である。

県としては、アクセス道路の整備に全力で取り組んでおり、浅口金光ICの供用直後の浅口工業団地への企業進出が見られるように、道路の供用が明らかであれば、企業側の立地判断の後押しとなるため、事業をより一層加速化し、一連の笠岡バイパスとともに、供用年次を早期に明示していただきたい。



【今後の対応方針(原案)】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト削減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

3. 今後の対応方針(原案)

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

(2) 笠岡バイパス

1. 再評価の視点

① 事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇社会情勢等に変化がない。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)=3.5(事業全体) 9.1(残事業) ※H25年度再評価時

◇道路の役割

①環境への影響を考慮した効果[約12千トンのCO2削減]【+5億円】※1、※2

笠岡バイパス整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定

②重症患者の救急搬送時間短縮[例]寄島総合支所～福山市民病院までの所要時間短縮約3分※3]

③交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保

④物流効率化の支援[例]笠岡港港町地区工業団地～水島港までの所要時間短縮約19分※4]

⑤沿道環境の改善[NOx排出量:約76t/年(0.8%)削減、SPM排出量:約4t/年(0.9%)削減]

3) 事業の進捗状況

※1【 】は、開通後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該道路の開通に影響を受けるエリアを対象に算定

※3 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)および笠岡バイパスを利用した場合

※4 玉島・笠岡道路、玉島・笠岡道路(Ⅱ期)、笠岡バイパスを利用した場合

◇平成28年度末で事業全体の進捗率は54%となる見込みである。

◇現在までに、「笠岡市西大島新田～笠岡市入江(L=0.4km)」及び「笠岡市カブト南町～笠岡市港町(L=2.9km)」間の側道部が開通済み。

② 事業の進捗見込み

◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き早期全線開通を目指し事業を推進する。

③ コスト削減や代替案立案の可能性

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト削減に努力しつつ、事業を推進していく。

2. 県への意見照会結果

◇岡山県知事の意見:

事業を継続する対応方針(原案)は妥当である。

著しく渋滞している国道2号の渋滞緩和は、企業活動をはじめとする生産性の向上に直結するため、非常に重要である。

県としては、アクセス道路の整備に全力で取り組むとともに、笠岡港(港町地区)の工業用地や笠岡湾干拓地へ新たな企業の進出が決定している状況であり、これらの企業の生産性の向上や、笠岡港(港町地区)工業用地への企業側のさらなる立地判断の後押しのためにも、事業をより一層加速化し、一連の玉島・笠岡道路とともに、供用年次を早期に明示していただきたい。

【今後の対応方針(原案)】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも事業継続が妥当。

◇今後の事業の実施にあたっては、コスト削減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

【参考】前回のとりまとめ結果

(1) 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	405	379
事業費	368	343
維持管理費	37	37
便益額 (B)	1,430	1,430
走行時間短縮便益	996	996
走行経費減少便益	306	306
交通事故減少便益	128	128
費用便益比	3.5	3.8

◆道路の役割

■道路の役割 (+α)

①環境への影響を考慮した効果 [約22千t/年のCO2削減] 【+10億円】 ※1、※2

玉島・笠岡道路(Ⅱ期) 整備に伴う速度向上による環境 (CO2) の改善効果を算定

②重症患者の救急搬送時間短縮 [例] 寄島総合支所～川崎医科大学付属病院までの所要時間短縮約3分※3

寄島総合支所～福山市民病院までの所要時間短縮約3分※4]

③交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保

④物流効率化による地域経済の活性化

⑤沿道環境の改善 [NOx排出量：約107t/年 (1.1%) 削減、SPM排出量：約6t/年 (1.3%) 削減]

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

※2 当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算定

※3 玉島・笠岡道路および玉島・笠岡道路(Ⅱ期)を利用した場合

※4 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)および笠岡バイパスを利用した場合

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3便益 (B)	その他の便益	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
43,700台/日～44,700台/日	約529億円	405億円	1,430億円	+α	3.5 (3.8) +α

※1 基準年：H25年

※2 H17ベース第2段階の改善を使用

【参考】前回のとりまとめ結果

(2) 笠岡バイパス

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	345	118
事業費	316	105
維持管理費	29	12
便益額 (B)	1,199	1,066
走行時間短縮便益	941	842
走行経費減少便益	178	153
交通事故減少便益	80	72
費用便益比	3.5	9.1

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行時間が短縮される効果を貨幣価値として算出したもの。
走行経費減少便益	周辺道路も含め、道路整備によって走行条件が改善されることによる走行に必要な経費(燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両整備費、車両償却費)の減少効果を対象として算出したもの。 なお、走行時間に含まれない経費を対象として算出している。
交通事故減少便益	周辺道路も含め、道路整備による交通量等の変化に伴う、交通事故による社会的損失(運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額等)が減少する効果を貨幣価値として算出したもの。

◆道路の役割

■道路の役割 (+α)

- ①環境への影響を考慮した効果 [約12千t/年のCO2削減] 【+5億円】 ※1、※2
笠岡バイパス整備に伴う速度向上による環境 (CO2) の改善効果を算定
- ②重症患者の救急搬送時間短縮 [例) 寄島総合支所～福山市民病院までの所要時間短縮約3分※3]
- ③交通事故・災害による通行止め時の迂回路の確保
- ④物流効率化による地域経済の活性化
- ⑤沿道環境の改善 [NOX排出量：約76t/年 (0.8%) 削減、SPM排出量：約4t/年 (0.9%) 削減]

※1 【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)
※2 当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算定
※3 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)および笠岡バイパスを利用した場合

◆まとめ

計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3 便益 (B)	その他の便益	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
34,400台/日～37,800台/日	約300億円	345億円	1,199億円	+ α	3.5 (9.1) + α

※1 基準年：H25年
※2 H17ベース第2段階の改善を使用

【参考】費用対効果分析実施判定票

(1) 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

費用対効果分析実施判定票

年度：平成28年度	事業名：一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
担当課：	担当課長名：

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項 目		判 定	チェック欄
判断根拠			
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合			
事業目的			
・事業目的に変更がない		事業目的である「交通渋滞の緩和」「交通安全の確保」「周辺地域の連携強化」などに変更がない。	■
外的要因			
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠「地元情勢等の変化がない」		対象路線沿線市町村の人口 H24：100,298人 → H27：97,738人 (笠岡市、浅口市、里庄町) 対象路線沿線市町村の自動車保有台数 H24：68,417台 → H26：69,976台 (笠岡市、浅口市、里庄町)	■
内的要因＜費用便益分析関係＞ ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注）なお、下記2～4について、各項目が感度分析幅の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。			
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠[B/Cの算定方法に変更がない]		費用便益分析マニュアル(H20.11.28)に変更がない。	■
2. 需要量等の変更がない 判断根拠[需要量等の減少が10%※以内]		前回発生集中交通量 5,741,596TE/日 → 今回発生集中交通量 5,741,596TE/日 変化率 0.0%	■
3. 事業費の変化 判断根拠[事業費の増加が10%※以内]		前回事業費 52,900百万円 → 今回事業費 52,900百万円 変化率 0.0%	■
4. 事業展開の変化 判断根拠[事業期間の延長が10%※以内]		前回事業展開 H20年度～H41年度 21年 → 今回事業展開 H20年度～H41年度 21年 変化率 0.0%	■
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合			
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。		直近3箇年の事業費の平均に対する分析費用 0.4%≦基準値1.0% 前回評価時の感度分析下位ケース 2.8≧基準値1.0	■
前回評価で費用対効果分析を実施している			■
以上より、費用対効果分析を実施しないものとする。			

【参考】費用対効果分析実施判定票
(2) 笠岡バイパス

一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)
一般国道2号 笠岡バイパス

費用対効果分析実施判定票

年度：平成28年度	事業名：一般国道2号 笠岡バイパス
担当課：	担当課長名：

※各事業において全ての項目に該当する場合には、費用対効果分析を実施しないことができる。

項 目		判 定	チェック欄
事 業 目 的		判断根拠	
(ア) 前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合			
事業目的			
・事業目的に変更がない		事業目的である「交通渋滞の緩和」「交通安全の確保」「周辺地域の連携強化」などに変更がない。	■
外的要因			
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない 判断根拠[地元情勢等の変化がない]		対象路線沿線市町村の人口 H24:52,854人 → H27:51,219人 (笠岡市) 対象路線沿線市町村の自動車保有台数 H24:38,338台 → H26:38,403台 (笠岡市)	■
内的要因＜費用便益分析関係＞ ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2～4について、各項目が感度分析幅の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。			
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない 判断根拠[B/Cの算定方法に変更がない]		費用便益分析マニュアル(H20.11.28)に変更がない。	■
2. 需要量等の変更がない 判断根拠[需要量等の減少が10%※以内]		前回発生集中交通量 5,741,596TE/日 → 今回発生集中交通量 5,741,596TE/日 変化率 0.0%	■
3. 事業費の変化 判断根拠[事業費の増加が10%※以内]		前回事業費 30,000百万円 → 今回事業費 30,000百万円 変化率 0.0%	■
4. 事業展開の変化 判断根拠[事業期間の延長が10%※以内]		前回事業展開 S63年度～H37年度 38年 → 今回事業展開 S63年度～H37年度 38年 変化率 0.0%	■
(イ) 費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合			
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい 判断根拠[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上] または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。		直近3箇年の事業費の平均に対する分析費用 9.3%≧基準値1.0% 前回評価時の感度分析下位ケース 3.0≧基準値1.0	■
前回評価で費用対効果分析を実施している			■
以上より、費用対効果分析を実施しないものとする。			

一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）

一般国道2号 笠岡バイパス

〔岡山県への意見照会と回答〕



国中整企画第19号
国中整港計第3号
平成28年7月20日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成28年8月23日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道２号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）	継続	
一般国道２号 笠岡バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成２８年８月９日（火）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 藤原（内線：３１５３）

施策分析評価係長 藤野（内線：３１８６）

TEL：０８２－２２１－９２３１（代表）

FAX：０８２－２２７－２６５１

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎２号館

技 第 2 8 3 号

平成 2 8 年 8 月 9 日

中国地方整備局長 殿

岡山県知事 伊原木 隆太



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について（回答）

平成 2 8 年 7 月 2 0 日付、国中整企画第 1 9 号及び国中整港計第 3 号で照会のあった
下記事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- 1 一般国道 2 号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）
- 2 一般国道 2 号 笠岡バイパス



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	道路建設課
事業名	一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である ・ 妥当でない	
(意見) 事業を継続とする対応方針（原案）については妥当である。 著しく渋滞している国道2号の渋滞緩和は、企業活動をはじめとする生産性の向上に直結するため、非常に重要である。 県としては、アクセス道路の整備に全力で取り組んでいるところであり、浅口金光ICの供用直後の浅口工業団地への企業進出に見られるように、道路の供用が明らかであれば、企業側の立地判断の後押しとなるため、事業をより一層加速化し、一連の笠岡バイパスとともに、供用年次を早期に明示していただきたい。		

- ※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。
- ※2 具体的な意見がある場合は、(意見)欄に記載して下さい。
- 特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、(意見)欄にその理由を必ず記載して下さい。
- ※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

	事業課名	道路建設課
事業名	一般国道2号 笠岡バイパス	
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である ・ 妥当でない	
(意見) 事業を継続とする対応方針（原案）については妥当である。 著しく渋滞している国道2号の渋滞緩和は、企業活動をはじめとする生産性の向上に直結するため、非常に重要である。 県としては、アクセス道路の整備に全力で取り組むとともに、笠岡港（港町地区）の工業用地や笠岡湾干拓地へ新たな企業が進出が決定している状況であり、これらの企業の生産性の向上や、笠岡港（港町地区）工業用地への企業側のさらなる立地判断の後押しのためにも、事業をより一層加速化し、一連の玉島・笠岡道路とともに、供用年次を早期に明示していただきたい。		

※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※2 具体的な意見がある場合は、(意見)欄に記載をして下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、(意見)欄にその理由を必ず記載して下さい。

※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにしてください。

一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）

一般国道2号 笠岡バイパス

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）
事業主体	中国地方整備局

【交通量推計・費用対効果分析・環境改善効果等に係る項目は、平成25年度評価時点】

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B／C）＝3.5（経済的純現在価値（B－C）＝1,025億円、経済的内部収益率（EIRR）＝14.1%） 県事業：費用便益比（B／C）＝3.8（経済的純現在価値（B－C）＝1,050億円、経済的内部収益率（EIRR）＝15.9%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 内湾なまほり アイの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 □ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における路切交通遮断量が10,000台時/日以上の路切道の除却もしくは交通改善が期待される ■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる ■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：95,111千人・時間/年 渋滞損失削減時間：2,287千人・時間/年（95,111千人・時間/年⇒92,824千人・時間/年） 区間b（該当区間／平行区間）について：（該当区間）一般国道2号玉島・笠岡道路（Ⅱ期） 平行区間等（該当区間）の渋滞損失時間（現況）：1,603千人・時間/年 平行区間等（該当区間）の渋滞損失削減率：85.9%削減（1,603千人・時間/年⇒227千人・時間/年） 対象空港：岡山空港、対象自治体名：笠岡市、改善見込み（笠岡市役所～岡山空港：125分→122分） 対象港湾：水島港（国際拠点港湾、国際バルク船路港湾）、改善見込み（笠岡市役所～水島港：50分→46分） 農林水産物を主体とする地域：浅口市（白桃）、主な出荷先：岡山県内、広島方面

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
都市の再生	☐ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	☐ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	☐ 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり	
	☐ 中心市街地内で行う事業である	
	☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内の事業である	
	☐ D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発（300戸以上又は10ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	
	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A路線）としての位置づけ有り	
	☒ 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路「倉敷播山道路」の一部として位置づけ（平成8年12月指定）
	☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	☒ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市間：倉敷市～福山市
	☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
	☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	☒ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：里庄町、日常生活圏中心都市：倉敷市、改善見込み（里庄町役場～倉敷市役所：35分～31分）
個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	美口市工業団地造成整備事業
	☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	対象観光地：倉敷美観地区の入り込み客数（H26観光入込客数：3,065千人／年）
	☐ 特別立法に基づく事業である	
	☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
	☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づき重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
2.暮らし	歩行者・自転車 のための生活空間の形成	

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの欄
2. 暮らし 無電柱化による 美しい町並みの 形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 対象となる三次医療施設名称：川崎医大付属病院、アクセス向上が見込まれる自治体名：旧香島町、（香島総合支所～川崎医大付属病院：39分～38分）※玉島・笠岡道路（Ⅱ期）および玉島・笠岡道路を利用した場合 対象となる三次医療施設名称：福山市民病院、アクセス向上が見込まれる自治体名：旧香島町、（香島総合支所～福山市民病院：34分～31分）※玉島・笠岡道路（Ⅱ期）および笠岡バイパスを利用した場合	
3. 安全	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
	☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上、当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上、の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する虞を解消する	
	☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	岡山県地域防災計画における第1次緊急輸送道路に位置付け（国道2号）
	☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	第一次緊急輸送道路である山陽自動車道、一般国道2号の代替路線として機能
	☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合）	
	☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
	☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
	☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
	☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：約22千t/年（整備なし3,563千t/年、整備あり3,541千t/年）
	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間：便益算定範囲 NOx排出削減量：約10t/年（整備なし9,363t/年⇒整備あり9,257t/年・・・約1.1%削減）
	● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間：便益算定範囲 SPM排出削減量：約6t/年（整備なし485t/年⇒整備あり478t/年・・・約1.3%削減）
	■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	夜間要請限度超過の状況（浅口市金光町佐方：騒音レベル71dB 1箇所、延長4.0km 沿道状況：平地部）改善の見込（新たに要請限度を達成することとなる延長：4.0km）
5. その他	☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
	☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
	■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある	笠岡バイパス、玉島・笠岡道路
	■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	「空岡都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H24.1）」「浅口市総合計画後期基本計画（H24.3）」「浅口市都市計画マスタープラン」（第6次空岡市総合計画後期基本計画（H26.4）」「空岡市都市計画マスタープラン（H27.4）」に位置付けあり
	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道2号	玉島・笠岡道路Ⅱ期	L=9.4km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
43,700～44,700	4	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	506億円	121億円	627億円
うち残事業分	481億円	121億円	602億円
基準年における 現在価値(C)	368億円	37億円	405億円
うち残事業分	343億円	37億円	379億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成42年度			
単年便益 (初年便益)	53億円	18億円	8.3億円	80億円
基準年における 現在価値(B)	996億円	306億円	128億円	1,430億円
うち残事業分	996億円	306億円	128億円	1,430億円

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	3.5
経済的純現在価値(事業全体)	1,025億円
経済的内部収益率(事業全体)	14.1%
費用便益比(残事業)	3.8
経済的純現在価値(残事業)	1,050億円
経済的内部収益率(残事業)	15.9%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	43700～44700	±10%	2.8～4.3
事業費	506億円	±10%	3.3～3.9
事業期間	14年	±20%	3.3～3.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	43700～44700	±10%	3.0～4.5
事業費	481億円	±10%	3.5～4.1
事業期間	8年	±20%	3.5～4.1

交通状況の変化

様式-3①

事業名:玉島・笠岡道路Ⅱ期(事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 : 9.4km		交通量※1	[台/日]	－	44,100
		走行時間※2	[分]	－	8
		走行時間費用※3	[億円/年]	－	71.31
②主な周辺道路※4	国道2号 : 9.5km	交通量	[台/日]	25,100	11,500
		走行時間	[分]	19	14
		走行時間費用	[億円/年]	97.81	28.32
	主)倉敷 長浜笠岡 線 : 9.3km	交通量	[台/日]	2,100	900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	5.83	2.41
	主)倉敷 笠岡線 : 14.4km	交通量	[台/日]	4,000	2,100
		走行時間	[分]	36	33
		走行時間費用	[億円/年]	24.29	10.81
	県)東安 倉鴨方線 : 4.9km	交通量	[台/日]	9,400	2,800
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	20.25	5.12
	市道 : 2.5km	交通量	[台/日]	5,700	3,700
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	4.08	2.57
③その他道路合計 : 2485.3km		走行時間費用	[億円/年]	8,807.15	8,769.72

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 2535.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,959.41	8,890.26	69.15

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

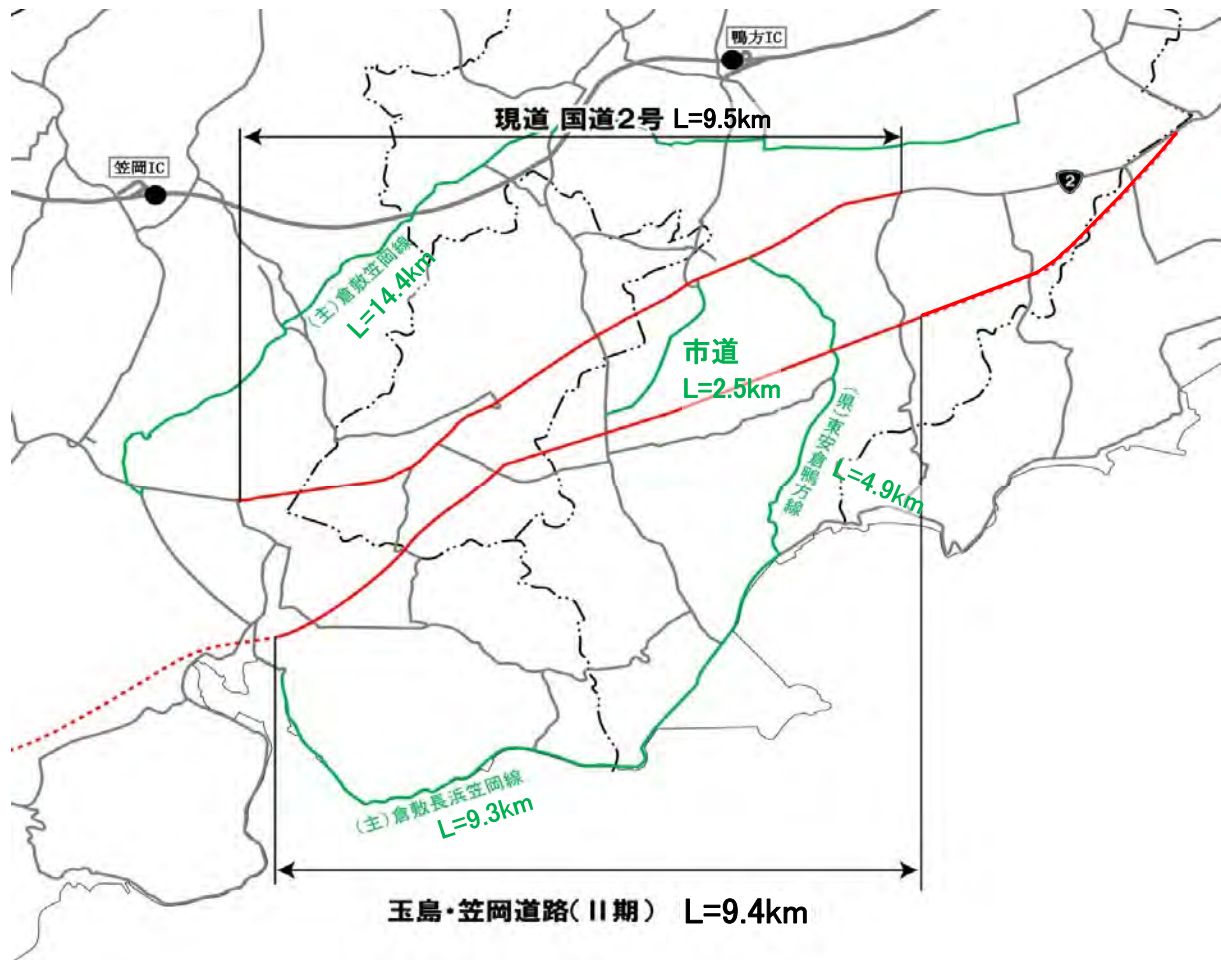
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名:玉島・笠岡道路Ⅱ期(残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 : 9.4km		交通量※1	[台/日]	－	44,100
		走行時間※2	[分]	－	8
		走行時間費用※3	[億円/年]	－	71.31
②主な周辺道路※4	国道2号 : 9.5km	交通量	[台/日]	25,100	11,500
		走行時間	[分]	19	14
		走行時間費用	[億円/年]	97.81	28.32
	主)倉敷 長浜笠岡線 : 9.3km	交通量	[台/日]	2,100	900
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	5.83	2.41
	主)倉敷 笠岡線 : 14.4km	交通量	[台/日]	4,000	2,100
		走行時間	[分]	36	33
		走行時間費用	[億円/年]	24.29	10.81
	県)東安 倉鴨方線 : 4.9km	交通量	[台/日]	9,400	2,800
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	20.25	5.12
	市道 : 2.5km	交通量	[台/日]	5,700	3,700
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	4.08	2.57
③その他道路合計 : 2485.3km		走行時間費用	[億円/年]	8,807.15	8,769.72

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 2535.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,959.41	8,890.26	69.15

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

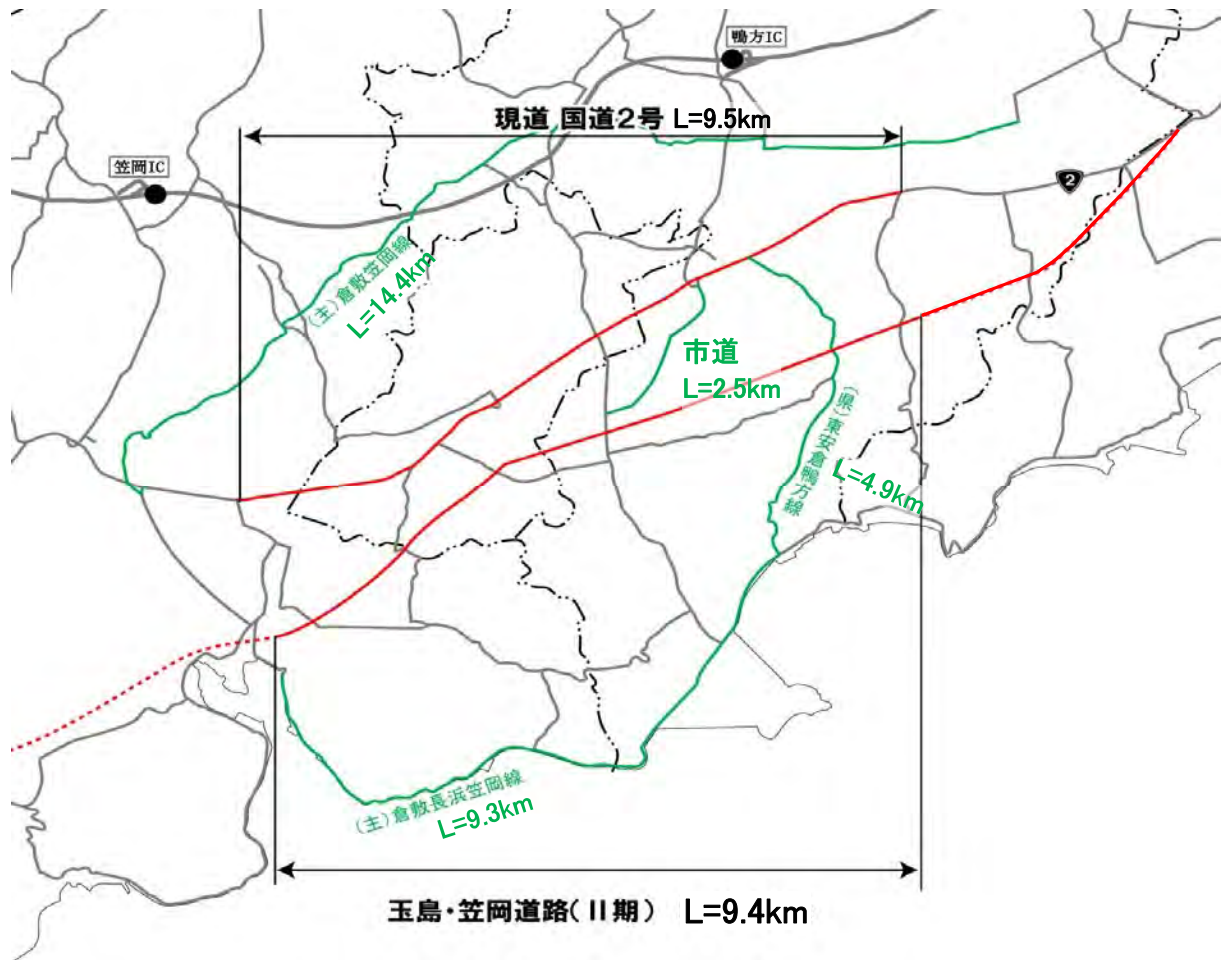
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 玉島・笠岡道路Ⅱ期

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成25年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42年)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		開発交通量の考慮	無	☒
	有		☐	
	有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法		Q-V式を用いた配分	☐
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	☐		
	最終配分の速度 採用理由を記載	☐		
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	☒		

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒	
独自に設定した値を使用		☐		
算出根拠を添付すること				
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	☐		
その他				

事業名：玉島・笠岡道路Ⅱ期

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☐	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☒	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		実績値に基づき維持管理費を算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
上記のほか、B／Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				

様式-4

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 玉島・笠岡道路Ⅱ期(事業全体)

採用単価の根拠		
一般国道(雪寒費含む)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.28	9.4	2.63

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H20	1.2167	96.8	1.00	1.16		
-13年目	H21	1.1699	95.6	0.76	0.86		
-12年目	H22	1.1249	93.7	0.71	0.79		
-11年目	H23	1.0816	92.1	2.28	2.46		
-10年目	H24	1.0400	92.1	10.51	10.93		
-9年目	H25	1.0000	92.1	9.54	9.54		
-8年目	H26	0.9615	92.1	10.31	9.91		
-7年目	H27	0.9246	92.1	15.03	13.89		
-6年目	H28	0.8890	92.1	28.33	25.19		
-5年目	H29	0.8548	92.1	55.73	47.64		
-4年目	H30	0.8219	92.1	53.93	44.33		
-3年目	H31	0.7903	92.1	36.68	28.99		
-2年目	H32	0.7599	92.1	39.85	30.28		
-1年目	H33	0.7307	92.1	21.28	15.55		
暫定供用開始	H34	0.7026	92.1	0.95	0.67	1.97	1.38
1年目	H35	0.6756	92.1	4.76	3.22	1.97	1.33
2年目	H36	0.6496	92.1	23.81	15.47	1.97	1.28
3年目	H37	0.6246	92.1	33.33	20.82	1.97	1.23
4年目	H38	0.6006	92.1	42.86	25.74	1.97	1.18
5年目	H39	0.5775	92.1	47.62	27.50	1.97	1.14
6年目	H40	0.5553	92.1	42.86	23.80	1.97	1.09
7年目	H41	0.5339	92.1	24.06	12.84	1.97	1.05
供用開始年次	H42	0.5134	92.1			2.51	1.29
9年目	H43	0.4936	92.1			2.51	1.24
10年目	H44	0.4746	92.1			2.51	1.19
11年目	H45	0.4564	92.1			2.51	1.14
12年目	H46	0.4388	92.1			2.51	1.10
13年目	H47	0.4220	92.1			2.51	1.06
14年目	H48	0.4057	92.1			2.51	1.02
15年目	H49	0.3901	92.1			2.51	0.98
16年目	H50	0.3751	92.1			2.51	0.94
17年目	H51	0.3607	92.1			2.51	0.90
18年目	H52	0.3468	92.1			2.51	0.87
19年目	H53	0.3335	92.1			2.51	0.84
20年目	H54	0.3207	92.1			2.51	0.80
21年目	H55	0.3083	92.1			2.51	0.77
22年目	H56	0.2965	92.1			2.51	0.74
23年目	H57	0.2851	92.1			2.51	0.71
24年目	H58	0.2741	92.1			2.51	0.69
25年目	H59	0.2636	92.1			2.51	0.66
26年目	H60	0.2534	92.1			2.51	0.64
27年目	H61	0.2437	92.1			2.51	0.61
28年目	H62	0.2343	92.1			2.51	0.59
29年目	H63	0.2253	92.1			2.51	0.56
30年目	H64	0.2166	92.1			2.51	0.54
31年目	H65	0.2083	92.1			2.51	0.52
32年目	H66	0.2003	92.1			2.51	0.50
33年目	H67	0.1926	92.1			2.51	0.48
34年目	H68	0.1852	92.1			2.51	0.46
35年目	H69	0.1780	92.1			2.51	0.45
36年目	H70	0.1712	92.1			2.51	0.43
37年目	H71	0.1646	92.1			2.51	0.41
38年目	H72	0.1583	92.1			2.51	0.40
39年目	H73	0.1522	92.1			2.51	0.38
40年目	H74	0.1463	92.1			2.51	0.37
41年目	H75	0.1407	92.1			2.51	0.35
42年目	H76	0.1353	92.1			2.51	0.34
43年目	H77	0.1301	92.1			2.51	0.33
44年目	H78	0.1251	92.1			2.51	0.31
45年目	H79	0.1203	92.1			2.51	0.30
46年目	H80	0.1157	92.1			2.51	0.29
47年目	H81	0.1112	92.1			2.51	0.28
48年目	H82	0.1069	92.1			2.51	0.27
49年目	H83	0.1028	92.1	-30.14	-3.10	2.51	0.26
合計				476.05	368.47	121.04	36.70

単純事業費計		506.19	121.04
--------	--	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:玉島・笠岡道路Ⅱ期(残事業)

採用単価の根拠			一般国道(雪寒費含む)
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
0.28	9.4	2.63	

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H26	0.9615	92.1	10.31	9.91		
-7年目	H27	0.9246	92.1	15.03	13.89		
-6年目	H28	0.8890	92.1	28.33	25.19		
-5年目	H29	0.8548	92.1	55.73	47.64		
-4年目	H30	0.8219	92.1	53.93	44.33		
-3年目	H31	0.7903	92.1	36.68	28.99		
-2年目	H32	0.7599	92.1	39.85	30.28		
-1年目	H33	0.7307	92.1	21.28	15.55		
暫定供用開始	H34	0.7026	92.1	0.95	0.67	1.97	1.38
1年目	H35	0.6756	92.1	4.76	3.22	1.97	1.33
2年目	H36	0.6496	92.1	23.81	15.47	1.97	1.28
3年目	H37	0.6246	92.1	33.33	20.82	1.97	1.23
4年目	H38	0.6006	92.1	42.86	25.74	1.97	1.18
5年目	H39	0.5775	92.1	47.62	27.50	1.97	1.14
6年目	H40	0.5553	92.1	42.86	23.80	1.97	1.09
7年目	H41	0.5339	92.1	24.06	12.84	1.97	1.05
供用開始年次	H42	0.5134	92.1			2.51	1.29
9年目	H43	0.4936	92.1			2.51	1.24
10年目	H44	0.4746	92.1			2.51	1.19
11年目	H45	0.4564	92.1			2.51	1.14
12年目	H46	0.4388	92.1			2.51	1.10
13年目	H47	0.4220	92.1			2.51	1.06
14年目	H48	0.4057	92.1			2.51	1.02
15年目	H49	0.3901	92.1			2.51	0.98
16年目	H50	0.3751	92.1			2.51	0.94
17年目	H51	0.3607	92.1			2.51	0.90
18年目	H52	0.3468	92.1			2.51	0.87
19年目	H53	0.3335	92.1			2.51	0.84
20年目	H54	0.3207	92.1			2.51	0.80
21年目	H55	0.3083	92.1			2.51	0.77
22年目	H56	0.2965	92.1			2.51	0.74
23年目	H57	0.2851	92.1			2.51	0.71
24年目	H58	0.2741	92.1			2.51	0.69
25年目	H59	0.2636	92.1			2.51	0.66
26年目	H60	0.2534	92.1			2.51	0.64
27年目	H61	0.2437	92.1			2.51	0.61
28年目	H62	0.2343	92.1			2.51	0.59
29年目	H63	0.2253	92.1			2.51	0.56
30年目	H64	0.2166	92.1			2.51	0.54
31年目	H65	0.2083	92.1			2.51	0.52
32年目	H66	0.2003	92.1			2.51	0.50
33年目	H67	0.1926	92.1			2.51	0.48
34年目	H68	0.1852	92.1			2.51	0.46
35年目	H69	0.1780	92.1			2.51	0.45
36年目	H70	0.1712	92.1			2.51	0.43
37年目	H71	0.1646	92.1			2.51	0.41
38年目	H72	0.1583	92.1			2.51	0.40
39年目	H73	0.1522	92.1			2.51	0.38
40年目	H74	0.1463	92.1			2.51	0.37
41年目	H75	0.1407	92.1			2.51	0.35
42年目	H76	0.1353	92.1			2.51	0.34
43年目	H77	0.1301	92.1			2.51	0.33
44年目	H78	0.1251	92.1			2.51	0.31
45年目	H79	0.1203	92.1			2.51	0.30
46年目	H80	0.1157	92.1			2.51	0.29
47年目	H81	0.1112	92.1			2.51	0.28
48年目	H82	0.1069	92.1			2.51	0.27
49年目	H83	0.1028	92.1	-29.89	-3.07	2.51	0.26
合計				451.50	342.76	121.04	36.70

単純事業費計		481.39	121.04
--------	--	--------	--------

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:玉島・安岡道路工期(事業全体)

様式-5

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽70%)				GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車		乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①*(A)*(B)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②*(A)*(B)	
暫定供用年	H25																
1年目	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	92.1	13.11	7.00	33.12	53.23	37.40	3.06	1.49	13.77	18.31	12.87	79.80
2年目	H35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	92.1	13.07	6.96	33.62	53.66	36.25	3.05	1.48	13.98	18.51	12.50	80.42
3年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	92.1	13.03	6.92	34.13	54.09	35.13	3.04	1.47	14.19	18.70	12.15	81.04
4年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	92.1	12.99	6.88	34.64	54.51	34.05	3.03	1.46	14.40	18.89	11.80	81.66
5年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	92.1	12.96	6.84	35.15	54.94	33.00	3.02	1.45	14.61	19.09	11.46	82.28
6年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	92.1	12.92	6.80	35.65	55.37	31.98	3.01	1.44	14.82	19.28	11.13	82.90
7年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	92.1	12.88	6.76	36.16	55.80	30.98	3.01	1.44	15.03	19.47	10.81	83.53
8年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	92.1	12.84	6.71	36.67	56.23	30.02	3.00	1.43	15.24	19.67	10.50	84.15
供用開始年次	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	92.1	15.26	7.39	46.50	69.15	35.80	3.21	1.38	15.41	20.00	10.27	88.90
9年目	H43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	92.1	15.15	7.33	46.56	69.04	34.08	3.19	1.37	15.43	19.98	9.86	88.90
10年目	H44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	92.1	15.03	7.28	46.61	68.92	32.71	3.16	1.36	15.45	19.97	9.48	87.90
11年目	H45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	92.1	14.91	7.23	46.67	68.81	31.40	3.14	1.35	15.46	19.95	9.11	87.30
12年目	H46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	92.1	14.79	7.18	46.72	68.70	30.15	3.11	1.34	15.48	19.94	8.75	86.80
13年目	H47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	92.1	14.68	7.13	46.77	68.58	28.94	3.09	1.33	15.50	19.92	8.41	86.30
14年目	H48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	92.1	14.56	7.08	46.83	68.47	27.78	3.06	1.32	15.52	19.90	8.08	85.80
15年目	H49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	92.1	14.44	7.03	46.88	68.35	26.67	3.04	1.31	15.53	19.89	7.76	85.30
16年目	H50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	92.1	14.32	6.98	46.94	68.24	25.60	3.01	1.31	15.55	19.87	7.45	84.80
17年目	H51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	92.1	14.21	6.93	46.99	68.12	24.57	2.99	1.30	15.57	19.85	7.16	84.30
18年目	H52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	92.1	14.09	6.87	47.05	68.01	23.59	2.96	1.29	15.59	19.84	6.88	83.80
19年目	H53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	92.1	13.97	6.82	47.10	67.90	22.64	2.94	1.28	15.61	19.82	6.61	83.20
20年目	H54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	92.1	13.86	6.77	47.15	67.78	21.73	2.91	1.27	15.62	19.81	6.35	82.70
21年目	H55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	92.1	13.74	6.72	47.21	67.67	20.86	2.89	1.26	15.64	19.79	6.10	82.20
22年目	H56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	92.1	13.62	6.67	47.26	67.55	20.03	2.86	1.25	15.66	19.77	5.86	81.70
23年目	H57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	92.1	13.50	6.62	47.32	67.44	19.22	2.84	1.24	15.68	19.76	5.63	81.20
24年目	H58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	92.1	13.39	6.57	47.37	67.33	18.45	2.82	1.23	15.70	19.74	5.41	80.70
25年目	H59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	92.1	13.27	6.52	47.43	67.21	17.71	2.79	1.22	15.71	19.72	5.20	80.20
26年目	H60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	92.1	13.15	6.47	47.48	67.10	17.00	2.77	1.21	15.73	19.71	4.99	79.70
27年目	H61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	92.1	13.03	6.41	47.53	66.98	16.32	2.74	1.20	15.75	19.69	4.80	79.20
28年目	H62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	92.1	12.92	6.36	47.59	66.87	15.67	2.72	1.19	15.77	19.68	4.61	78.70
29年目	H63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	92.1	12.80	6.31	47.64	66.75	15.04	2.69	1.18	15.79	19.66	4.43	78.20
30年目	H64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	92.1	12.68	6.26	47.70	66.64	14.44	2.67	1.17	15.80	19.64	4.25	77.70
31年目	H65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	92.1	12.57	6.21	47.75	66.53	13.86	2.64	1.16	15.82	19.63	4.09	77.20
32年目	H66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	92.1	12.45	6.16	47.80	66.41	13.30	2.62	1.15	15.84	19.61	3.93	76.70
33年目	H67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	92.1	12.33	6.11	47.86	66.30	12.77	2.59	1.14	15.86	19.59	3.77	76.20
34年目	H68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	92.1	12.21	6.06	47.91	66.18	12.25	2.57	1.13	15.88	19.58	3.63	75.70
35年目	H69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	92.1	12.10	6.00	47.97	66.07	11.76	2.54	1.12	15.89	19.56	3.48	75.20
36年目	H70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	92.1	11.98	5.95	48.02	65.95	11.29	2.52	1.11	15.91	19.54	3.35	74.70
37年目	H71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	92.1	11.86	5.90	48.08	65.84	10.84	2.49	1.10	15.93	19.53	3.21	74.20
38年目	H72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	92.1	11.74	5.85	48.13	65.73	10.40	2.47	1.09	15.95	19.51	3.09	73.70
39年目	H73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	92.1	11.63	5.80	48.18	65.61	9.99	2.45	1.09	15.97	19.50	2.97	73.20
40年目	H74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	92.1	11.51	5.75	48.24	65.50	9.58	2.42	1.08	15.98	19.48	2.85	72.70
41年目	H75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	92.1	11.39	5.70	48.29	65.38	9.20	2.40	1.07	16.00	19.46	2.74	72.20
42年目	H76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	92.1	11.28	5.65	48.35	65.27	8.83	2.37	1.06	16.02	19.45	2.63	71.70
43年目	H77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	92.1	11.16	5.60	48.40	65.15	8.48	2.35	1.05	16.04	19.43	2.53	71.20
44年目	H78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	92.1	11.04	5.54	48.45	65.04	8.14	2.32	1.04	16.06	19.41	2.43	70.70
45年目	H79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99272	92.1	10.92	5.49	48.51	64.93	7.81	2.30	1.03	16.07	19.40	2.33	70.20
46年目	H80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	92.1	10.81	5.44	48.56	64.81	7.50	2.27	1.02	16.09	19.38	2.24	69.70
47年目	H81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	92.1	10.69	5.39	48.62	64.70	7.19	2.25	1.01	16.11	19.37	2.15	69.20
48年目	H82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	92.1	10.57	5.34	48.67	64.58	6.91	2.22	1.00	16.13	19.35	2.07	68.70
49年目	H83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	92.1	10.45	5.29	48.73	64.47	6.63	2.20	0.99	16.15	19.33	1.99	68.20
合計							643.87	321.04	2278.96	3243.87	995.63	137.79	61.46	778.69	977.94	306.15	4617.01

便益の現在価値算定表

箇所名:玉島・安岡道路工期(残事業)

様式-5

年次	年度 (基準年) H25	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽70%)				GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合 計 (億円)			
		乗用車	小型貨物	普通貨物	全 車		割引率 (A)	現在価値 ①*(A)*(B)	乗用車	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ②*(A)*(B)	乗用車	小型貨物	普通貨物	② 計		現在価値 ③*(A)*(B)	③	
暫定供用年	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7026	92.1	13.11	7.00	33.12	53.23	37.40	3.06	1.49	13.77	18.31	12.87	8.26	5.80	79.80	56.07
1年目	H35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6756	92.1	13.07	6.96	33.62	53.66	36.25	3.05	1.48	13.98	18.51	12.50	8.26	5.80	80.42	54.33
2年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6496	92.1	13.03	6.92	34.13	54.09	35.13	3.04	1.47	14.19	18.70	12.15	8.26	5.36	81.04	52.64
3年目	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6246	92.1	12.99	6.88	34.64	54.51	34.05	3.03	1.46	14.40	18.89	11.80	8.26	5.16	81.66	51.01
4年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6006	92.1	12.96	6.84	35.15	54.94	33.00	3.02	1.45	14.61	19.09	11.46	8.25	4.96	82.28	49.42
5年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5775	92.1	12.92	6.80	35.65	55.37	31.98	3.01	1.44	14.82	19.28	11.13	8.25	4.77	82.90	47.88
6年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5533	92.1	12.88	6.76	36.16	55.80	30.98	3.01	1.44	15.03	19.47	10.81	8.25	4.58	83.53	46.38
7年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5339	92.1	12.84	6.71	36.67	56.23	30.02	3.00	1.43	15.24	19.67	10.50	8.25	4.41	84.15	44.93
供用開始年次	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	15.26	7.39	46.50	69.15	35.50	3.21	1.38	15.41	20.00	10.27	8.89	4.56	98.04	50.33
9年目	H43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4936	92.1	15.15	7.33	46.56	69.04	34.08	3.19	1.37	15.43	19.98	9.86	8.84	4.36	97.86	48.31
10年目	H44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4746	92.1	15.03	7.28	46.61	68.92	32.71	3.16	1.36	15.45	19.97	9.48	8.79	4.17	97.68	46.36
11年目	H45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4564	92.1	14.91	7.23	46.67	68.81	31.40	3.14	1.35	15.46	19.95	9.11	8.73	3.99	97.50	44.50
12年目	H46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4388	92.1	14.79	7.18	46.72	68.70	30.15	3.11	1.34	15.48	19.94	8.75	8.68	3.81	97.31	42.40
13年目	H47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.4220	92.1	14.68	7.13	46.77	68.58	28.94	3.09	1.33	15.50	19.92	8.41	8.63	3.64	97.13	40.99
14年目	H48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.4057	92.1	14.56	7.08	46.83	68.47	27.78	3.06	1.32	15.52	19.90	8.08	8.58	3.48	96.95	39.34
15年目	H49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3901	92.1	14.44	7.03	46.88	68.35	26.67	3.04	1.31	15.53	19.89	7.76	8.53	3.33	96.77	37.75
16年目	H50	0.99188	0.99272	1.00115	0.99398	0.3751	92.1	14.32	6.98	46.94	68.24	25.60	3.01	1.31	15.55	19.87	7.45	8.48	3.18	96.59	36.23
17年目	H51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3607	92.1	14.21	6.93	46.99	68.12	24.57	2.99	1.30	15.57	19.85	7.16	8.43	3.04	96.41	34.77
18年目	H52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3468	92.1	14.09	6.87	47.05	68.01	23.59	2.96	1.29	15.59	19.84	6.88	8.38	2.90	96.22	33.37
19年目	H53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3335	92.1	13.97	6.82	47.10	67.90	22.64	2.94	1.28	15.61	19.82	6.61	8.32	2.78	96.04	32.03
20年目	H54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.3207	92.1	13.86	6.77	47.15	67.78	21.73	2.91	1.27	15.62	19.81	6.35	8.27	2.65	95.86	30.74
21年目	H55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.3083	92.1	13.74	6.72	47.21	67.67	20.86	2.89	1.26	15.64	19.79	6.10	8.22	2.53	95.68	29.50
22年目	H56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2965	92.1	13.62	6.67	47.26	67.55	20.03	2.86	1.25	15.66	19.77	5.86	8.17	2.42	95.50	28.31
23年目	H57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2851	92.1	13.50	6.62	47.32	67.44	19.22	2.84	1.24	15.68	19.76	5.63	8.12	2.31	95.31	27.17
24年目	H58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2741	92.1	13.39	6.57	47.37	67.33	18.45	2.82	1.23	15.70	19.74	5.41	8.07	2.21	95.13	26.08
25年目	H59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2636	92.1	13.27	6.52	47.43	67.21	17.71	2.79	1.22	15.71	19.72	5.20	8.02	2.11	94.95	25.02
26年目	H60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2534	92.1	13.15	6.47	47.48	67.10	17.00	2.77	1.21	15.73	19.71	4.99	7.97	2.02	94.77	24.02
27年目	H61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2437	92.1	13.03	6.41	47.53	66.98	16.32	2.74	1.20	15.75	19.69	4.80	7.91	1.93	94.59	23.05
28年目	H62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2343	92.1	12.92	6.36	47.59	66.87	15.67	2.72	1.19	15.77	19.68	4.61	7.86	1.84	94.41	22.12
29年目	H63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2253	92.1	12.80	6.31	47.64	66.75	15.04	2.69	1.18	15.79	19.66	4.43	7.81	1.76	94.22	21.23
30年目	H64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2166	92.1	12.68	6.26	47.70	66.64	14.44	2.67	1.17	15.80	19.64	4.25	7.76	1.68	94.04	20.37
31年目	H65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.2083	92.1	12.57	6.21	47.75	66.53	13.86	2.64	1.16	15.82	19.63	4.09	7.71	1.61	93.86	19.55
32年目	H66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.2003	92.1	12.45	6.16	47.80	66.41	13.30	2.62	1.15	15.84	19.61	3.93	7.66	1.53	93.68	18.76
33年目	H67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1926	92.1	12.33	6.11	47.86	66.30	12.77	2.59	1.14	15.86	19.59	3.77	7.61	1.46	93.50	18.01
34年目	H68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1852	92.1	12.21	6.06	47.91	66.18	12.25	2.57	1.13	15.88	19.58	3.63	7.55	1.40	93.31	17.28
35年目	H69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1780	92.1	12.10	6.00	47.97	66.07	11.76	2.54	1.12	15.89	19.56	3.48	7.50	1.34	93.13	16.58
36年目	H70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1712	92.1	11.98	5.95	48.02	65.95	11.29	2.52	1.11	15.91	19.54	3.35	7.45	1.28	92.95	15.91
37年目	H71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1646	92.1	11.86	5.90	48.08	65.84	10.84	2.49	1.10	15.93	19.53	3.21	7.40	1.22	92.77	15.27
38年目	H72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1583	92.1	11.74	5.85	48.13	65.73	10.40	2.47	1.09	15.95	19.51	3.09	7.35	1.16	92.59	14.65
39年目	H73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1522	92.1	11.63	5.80	48.18	65.61	9.99	2.45	1.09	15.97	19.50	2.97	7.30	1.11	92.41	14.06
40年目	H74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1463	92.1	11.51	5.75	48.24	65.50	9.58	2.42	1.08	15.98	19.48	2.85	7.25	1.06	92.22	13.50
41年目	H75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1407	92.1	11.39	5.70	48.29	65.38	9.20	2.40	1.07	16.00	19.46	2.74	7.20	1.01	92.04	12.95
42年目	H76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1353	92.1	11.28	5.65	48.35	65.27	8.83	2.37	1.06	16.02	19.45	2.63	7.14	0.97	91.86	12.43
43年目	H77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1301	92.1	11.16	5.60	48.40	65.15	8.48	2.35	1.05	16.04	19.43	2.53	7.09	0.92	91.68	11.93
44年目	H78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1251	92.1	11.04	5.54	48.45	65.04	8.14	2.32	1.04	16.06	19.41	2.43	7.04	0.88	91.50	11.45
45年目	H79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1203	92.1	10.92	5.49	48.51	64.93	7.81	2.30	1.03	16.07	19.40	2.33	6.99	0.84	91.31	10.98
46年目	H80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1157	92.1	10.81	5.44	48.56	64.81	7.50	2.27	1.02	16.09	19.38	2.24	6.94	0.80	91.13	10.54
47年目	H81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1112	92.1	10.69	5.39	48.62	64.70	7.19	2.25	1.01	16.11	19.37	2.15	6.89	0.77	90.95	10.11
48年目	H82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.1069	92.1	10.57	5.34	48.67	64.58	6.91	2.22	1.00	16.13	19.35	2.07	6.84	0.70	90.77	9.71
49年目	H83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.1028	92.1	10.45	5.29	48.73	64.47	6.63	2.20	0.99	16.15	19.33	1.99	6.79	0.70	90.59	9.31
合計								643.87	321.04	2278.96	3243.87	995.63	137.79	61.46	778.69	977.94	306.15	395.20	128.12	4817.01	1429.91

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	玉島・笠岡道路(Ⅱ期)	4/4	9.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	38,300	
	改良費		式	1	9,435	
		土工	m3	3,268,275	5,224	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3	68,387	424	
		法面工	m²	229,575	687	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	895	逆T式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁
		管渠工	m	980	167	
		函渠工	m	838	1,155	
		排水工	m	10,090	583	
		中央分離帯工	m	6,148	277	
		雑工	式	1	23	工事用道路等
	橋梁費		式	1	14,354	
		100m以上	m	1,108	7,016	PC橋(2橋)、ME橋(4橋)
		100m未満	m	736	7,338	PC橋(8橋)、ME橋(6橋)、OV橋(1橋)
	トンネル費		式	1	9,947	
		NATM	m	3,400	9,947	4本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	855	
		IC	箇所	4	855	ダイヤモンド型(4箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	2,621	
		車道舗装	m²	198,370	2,621	
		歩道舗装	m²	0	0	
	附帯施設費		式	1	1,088	
		交通管理施設工	式	1	1,088	標識工、防護柵工、道路照明工等
遮音壁		m	0	0		
②用地及び補償費			式	1	5,004	
	用地費		式	1	3,014	
		宅地	m²	23,393	860	
		田畑	m²	108,022	1,279	
		山林・原野	m²	277,915	875	
	補償費		式	1	1,990	
③間接経費			式	1	9,596	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					52,900	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する。

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	玉島・笠岡道路(Ⅱ期)	4/4	9.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	36,461	
	改良費		式	1	8,667	
		土工	m3	3,041,695	4,861	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3	68,387	424	
		法面工	m²	229,575	687	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	804	逆T式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁
		管渠工	m	980	167	
		函渠工	m	781	936	
		排水工	m	8,448	488	
		中央分離帯工	m	6,148	277	
		雑工	式	1	23	工事用道路等
	橋梁費		式	1	13,283	
		100m以上	m	1,108	6,180	PC橋(2橋)、ME橋(4橋)
		100m未満	m	736	7,104	PC橋(8橋)、ME橋(6橋)、OV橋(1橋)
	トンネル費		式	1	9,947	
		NATM	m	3,400	9,947	4本(上下線)
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		式	1	855	
		IC	箇所	4	855	ダイヤモンド型(4箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費		式	1	2,621	
		車道舗装	m²	198,370	2,621	
		歩道舗装	m²	0	0	
	附帯施設費		式	1	1,088	
		交通管理施設工	式	1	1,088	標識工、防護柵工、道路照明工等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及び補償費			式	1	4,975	
	用地費		式	1	2,989	
		宅地	m²	23,393	860	
		田畑	m²	108,022	1,279	
		山林・原野	m²	260,817	850	
	補償費		式	1	1,986	
③間接経費		式	1	8,861	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				50,297		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する。

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	玉島・笠岡道路(Ⅱ期)	4	9.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.4	1,421	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	11,288	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			12,709	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	玉島・笠岡道路(Ⅱ期)	4	9.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.4	1,421	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	11,288	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			12,709	

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの相拠
都市の再生	☐ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	☐ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	☐ 市街地再開発、区画整理等の治道まちづくりとの連携あり	
	☐ 中心市街地内で行う事業である	
	☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内の事業である	
	☐ D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は10ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	
	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A路線）としての位置づけ有り	
	☒ 地域高規格道路の位置づけあり	地域高規格道路「倉敷播山道路」の一部として位置づけ（平成8年12月指定）
	☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	☒ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市間：倉敷市～福山市
	☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
	☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
	☐ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
	☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	笠岡市笠岡湾干拓地域・バイオオオマスタウン構想
	☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	対象観光地：倉敷美観地区の入り込み客数（H26観光入込客数：3,065千人／年）
	☐ 特別立法に基づく事業である	
	☐ 新構整備の公共公益施設へ直結する道路である	
	☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリック的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
	☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づき重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
2.暮らし	☐ 歩行者・自転車・自動車のための生活空間の形成	

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの掲載
2. 暮らし 無電柱化による 美しい町並みの 形成	■ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り □ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	指標チェックの掲載 無電柱化推進計画に位置づけ 対象となる三次医療施設名称：福山市民病院、アクセス向上が見込まれる自治体名：旧香島町、（香島総合支所～福山市民病院：34分～31分）※玉島・空岡道路（Ⅱ期）および空岡バイパスを利用した場合
	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる □ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通称である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上、当該区間が通称である場合は歩道、側道が40m（日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭い区間に歩道が設置される □ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
	□ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する □ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A 路線としての位置づけがある場合） □ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される □ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する □ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する □ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する □ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	岡山県地域防災計画における第1次緊急輸送道路に位置付け（国道2号） 第一次緊急輸送道路である山陽自動車道、一般国道2号の代替路線として機能
3. 安全	□ 安全な生活環境の確保 □ 災害への備え	
	■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 ■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 ■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 ■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある □ その他、環境や景観上の効果が期待される	CO2排出削減量：約12千t/年（整備なし3,553千t/年、整備あり3,541千t/年） 評価対象区間：便益算定範囲 NOx排出削減量：約76t/年（整備なし9,333t/年⇒整備あり9,257t/年・・・約0.8%削減） 評価対象区間：便益算定範囲 SPM排出削減量：約4t/年（整備なし482t/年⇒整備あり478t/年・・・約0.9%削減） 夜間要請限度超過の状況（空岡市大重：騒音レベル74dB、空岡市笠岡：騒音レベル74dB 2箇所、延長4.3km 沿道状況：山地部） 改善の見込（新たに要請限度を達成することとなる延長：4.3km）
	□ その他、環境や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	
4. 環境	■ 地球環境の保全 ■ 生活環境の改善・保全	
	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている ■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある ■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	玉島・空岡道路、玉島・空岡道路（Ⅱ期）
	□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	「空岡都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H24.1）」「第6次空岡市総合計画後期基本計画（H26.4）」「空岡市都市計画マスタープラン（H27.4）」に位置づけあり
5. その他	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	

様式－2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道2号	笠岡バイパス	L=7.6km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
34,400～37,800	4	中国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成25年度		
単純合計	288億円	96億円	383億円
うち残事業分	134億円	41億円	175億円
基準年における 現在価値(C)	316億円	29億円	345億円
うち残事業分	105億円	12億円	118億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成25年度			
供用年	平成38年度			
単年便益 (初年便益)	55億円	11億円	5.2億円	70億円
基準年における 現在価値(B)	941億円	178億円	80億円	1,199億円
うち残事業分	842億円	153億円	72億円	1,066億円

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	3.5
経済的純現在価値(事業全体)	854億円
経済的内部収益率(事業全体)	8.6%
費用便益比(残事業)	9.1
経済的純現在価値(残事業)	949億円
経済的内部収益率(残事業)	26.9%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	34400～37800	±10%	3.0～4.0
事業費	288億円	±10%	3.4～3.6
事業期間	34年	±20%	3.2～3.7

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	34400～37800	±10%	7.6～10.6
事業費	134億円	±10%	8.3～10.0
事業期間	8年	±20%	8.4～9.7

交通状況の変化

様式-3①

事業名: 笠岡バイパス(事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 : 7.6km		交通量※1	[台/日]	－	36,700
		走行時間※2	[分]	－	8
		走行時間費用※3	[億円/年]	－	57.31
②主な周辺道路※4	国道2号 : 7.3km	交通量	[台/日]	30,700	13,700
		走行時間	[分]	18	12
		走行時間費用	[億円/年]	115.83	29.20
	臨港道路 : 4.6km	交通量	[台/日]	7,200	1,700
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	13.69	2.93
	県)青島 新開神島 外港線 : 3.7km	交通量	[台/日]	8,400	4,100
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.31	4.51
	市)西ノ 浜新田平 成町線 : 3.3km	交通量	[台/日]	10,300	2,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	11.20	2.81
	都)五番 町入江線 : 2.8km	交通量	[台/日]	10,300	6,100
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.37	5.78
③その他道路合計 : 2502.3km		走行時間費用	[億円/年]	8,791.90	8,787.73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 2531.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,953.29	8,890.26	63.03

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

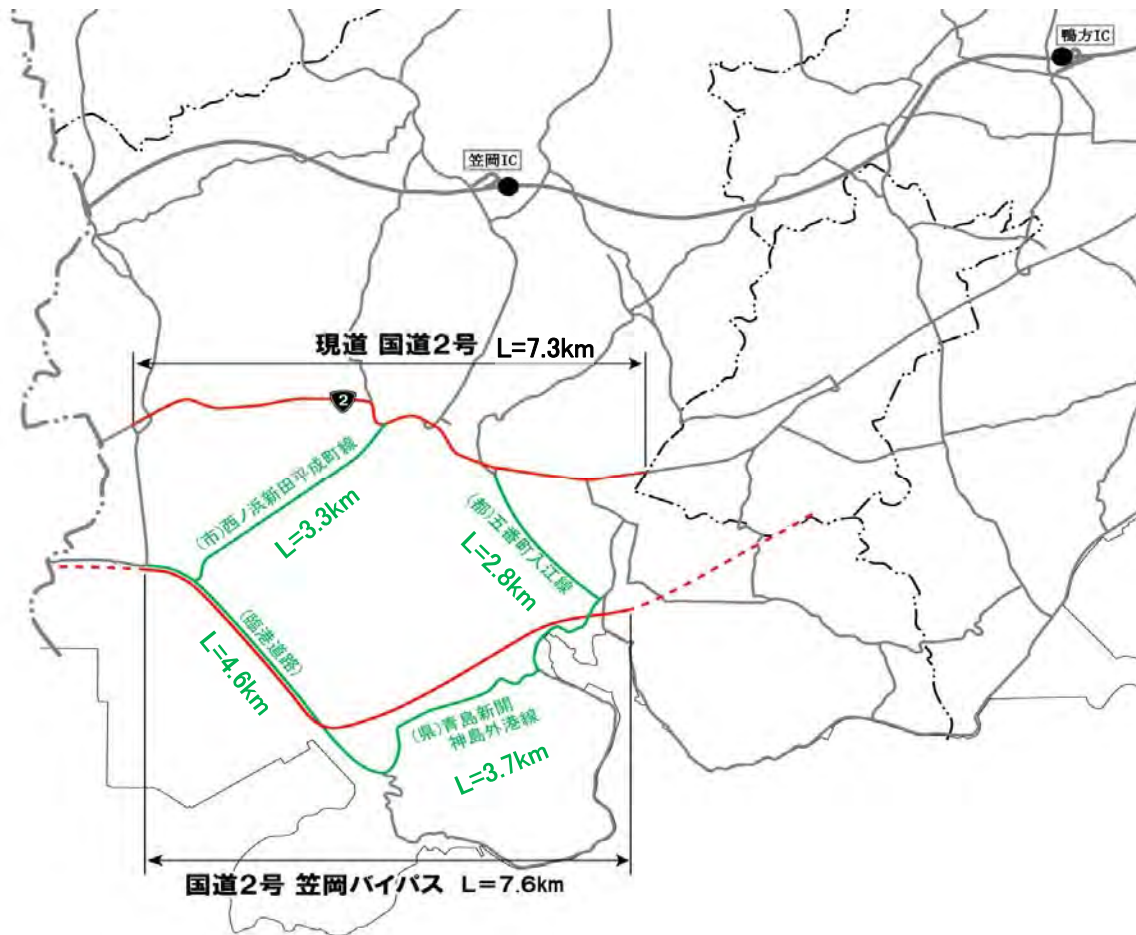
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名: 笠岡バイパス(残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 : 7.6km		交通量※1	[台/日]	－	36,700
		走行時間※2	[分]	－	8
		走行時間費用※3	[億円/年]	－	57.31
②主な周辺道路※4	国道2号 : 7.3km	交通量	[台/日]	30,300	13,700
		走行時間	[分]	18	12
		走行時間費用	[億円/年]	112.94	29.20
	臨港道路 : 4.6km	交通量	[台/日]	7,300	1,700
		走行時間	[分]	11	10
		走行時間費用	[億円/年]	13.82	2.93
	県)青島 新開神島 外港線 : 3.7km	交通量	[台/日]	7,000	4,100
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	8.98	4.51
	市)西ノ 浜新田平 成町線 : 3.3km	交通量	[台/日]	9,900	2,800
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.81	2.81
	都)五番 町入江線 : 2.8km	交通量	[台/日]	10,600	6,100
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	10.68	5.78
③その他道路合計 : 2502.3km		走行時間費用	[億円/年]	8,789.43	8,787.73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便 益
合計: 2531.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	8,946.67	8,890.26	56.41

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

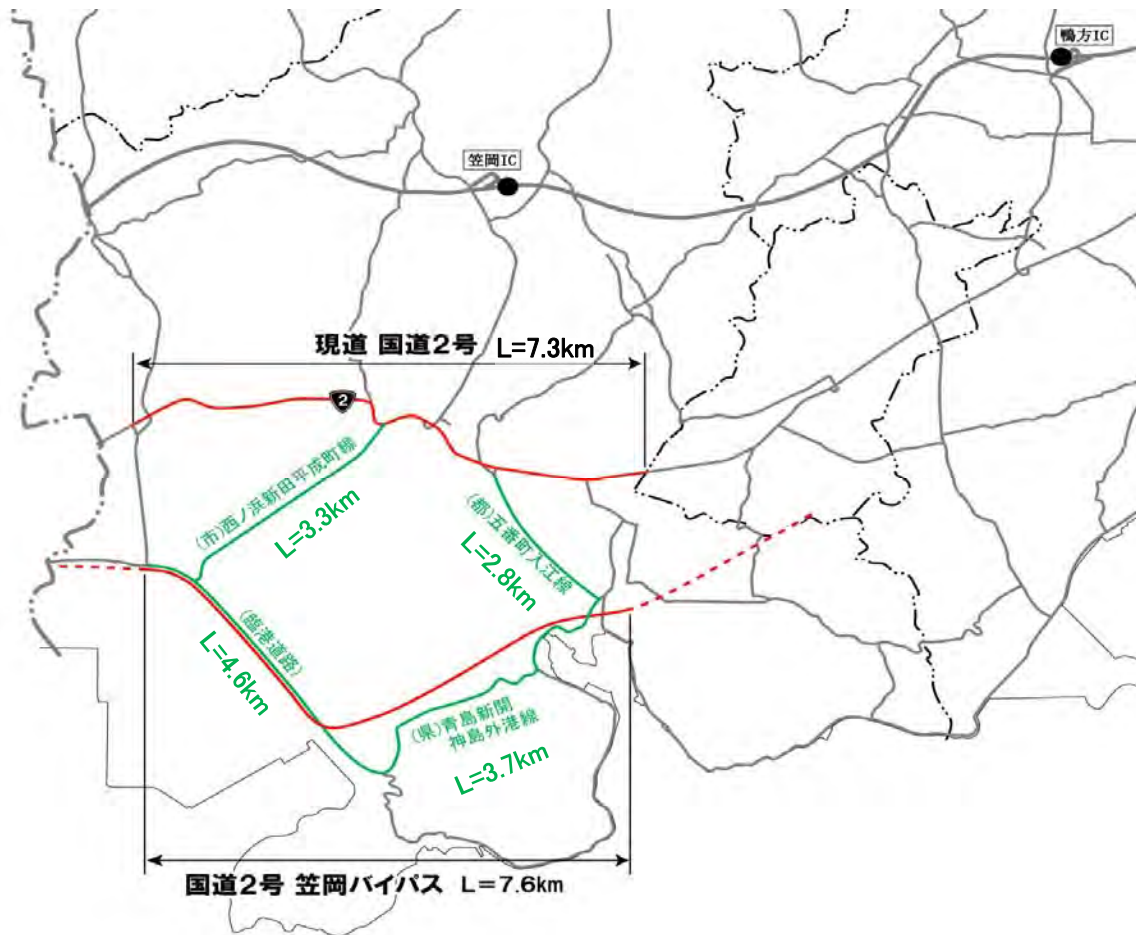
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 笠岡バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成25年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42年)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		開発交通量の考慮	無	☒
	有		☐	
	有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	配分交通量の推計手法		Q-V式を用いた配分	☐
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	☐		
	最終配分の速度 採用理由を記載	☐		
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	☒		

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	□
	冬期交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	■	
		その他 ()	□	
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■	
独自に設定した値を使用		□		
算出根拠を添付すること				
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■		
	独自に設定した値を使用	□		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	□		
	中央分離帯の有無を考慮しない	■		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	■		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	□		
その他				

事業名：笠岡バイパス

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☐	
		その他(概略事業計画による値を採用)	☒	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		実績値に基づき維持管理費を算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		☒
		考慮する		☐
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
			維持管理費を考慮	☐
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
上記のほか、B／Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				

費用の現在価値算定表

箇所名:笠岡バイパス(事業全体)

様式-4

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(雪寒費含む)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	7.6	2.05

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-34年目	S63	2.6658	101.5	0.30	0.73		
-33年目	H1	2.5633	104.2	0.29	0.66		
-32年目	H2	2.4647	106.5	9.11	19.42		
-31年目	H3	2.3699	109.1	0.10	0.19		
-30年目	H4	2.2788	110.6	0.39	0.74		
-29年目	H5	2.1911	110.9	0.19	0.35		
-28年目	H6	2.1068	110.8	1.94	3.40		
-27年目	H7	2.0258	109.9	1.46	2.47		
-26年目	H8	1.9479	109.5	0.10	0.16		
-25年目	H9	1.8730	110.4	1.43	2.23		
-24年目	H10	1.8009	109.9	9.52	14.37		
-23年目	H11	1.7317	108.4	4.15	6.11		
-22年目	H12	1.6651	107.2	7.28	10.42		
-21年目	H13	1.6010	105.7	8.51	11.87		
-20年目	H14	1.5395	103.8	23.65	32.31		
-19年目	H15	1.4802	102.3	16.28	21.69		
-18年目	H16	1.4233	101.0	13.21	17.15		
-17年目	H17	1.3686	99.6	27.55	34.87		
-16年目	H18	1.3159	98.7	14.56	17.88		
-15年目	H19	1.2653	97.6	9.06	10.82		
-14年目	H20	1.2167	96.8	0.20	0.23		
-13年目	H21	1.1699	95.6	0.07	0.08		
-12年目	H22	1.1249	93.7	0.72	0.79		
-11年目	H23	1.0816	92.1	0.71	0.77		
-10年目	H24	1.0400	92.1	1.90	1.98		
-9年目	H25	1.0000	92.1	0.88	0.88		
-8年目	H26	0.9615	92.1	1.43	1.37		
-7年目	H27	0.9246	92.1	8.32	7.69		
-6年目	H28	0.8890	92.1	12.08	10.74		
-5年目	H29	0.8548	92.1	13.95	11.93		
-4年目	H30	0.8219	92.1	7.59	6.24		
-3年目	H31	0.7903	92.1	26.37	20.84		
-2年目	H32	0.7599	92.1	25.82	19.62		
-1年目	H33	0.7307	92.1	21.30	15.56		
暫定供用年	H34	0.7026	92.1	0.95	0.67	1.45	1.02
1年目	H35	0.6756	92.1	4.76	3.22	1.45	0.98
2年目	H36	0.6496	92.1	9.52	6.19	1.45	0.94
3年目	H37	0.6246	92.1	1.93	1.21	1.45	0.90
供用開始年次	H38	0.6006	92.1			1.95	1.17
5年目	H39	0.5775	92.1			1.95	1.13
6年目	H40	0.5553	92.1			1.95	1.09
7年目	H41	0.5339	92.1			1.95	1.04
8年目	H42	0.5134	92.1			1.95	1.00
9年目	H43	0.4936	92.1			1.95	0.96
10年目	H44	0.4746	92.1			1.95	0.93
11年目	H45	0.4564	92.1			1.95	0.89
12年目	H46	0.4388	92.1			1.95	0.86
13年目	H47	0.4220	92.1			1.95	0.82
14年目	H48	0.4057	92.1			1.95	0.79
15年目	H49	0.3901	92.1			1.95	0.76
16年目	H50	0.3751	92.1			1.95	0.73
17年目	H51	0.3607	92.1			1.95	0.70
18年目	H52	0.3468	92.1			1.95	0.68
19年目	H53	0.3335	92.1			1.95	0.65
20年目	H54	0.3207	92.1			1.95	0.63
21年目	H55	0.3083	92.1			1.95	0.60
22年目	H56	0.2965	92.1			1.95	0.58
23年目	H57	0.2851	92.1			1.95	0.56
24年目	H58	0.2741	92.1			1.95	0.54
25年目	H59	0.2636	92.1			1.95	0.52
26年目	H60	0.2534	92.1			1.95	0.50
27年目	H61	0.2437	92.1			1.95	0.48
28年目	H62	0.2343	92.1			1.95	0.46
29年目	H63	0.2253	92.1			1.95	0.44
30年目	H64	0.2166	92.1			1.95	0.42
31年目	H65	0.2083	92.1			1.95	0.41
32年目	H66	0.2003	92.1			1.95	0.39
33年目	H67	0.1926	92.1			1.95	0.38
34年目	H68	0.1852	92.1			1.95	0.36
35年目	H69	0.1780	92.1			1.95	0.35
36年目	H70	0.1712	92.1			1.95	0.33
37年目	H71	0.1646	92.1			1.95	0.32
38年目	H72	0.1583	92.1			1.95	0.31
39年目	H73	0.1522	92.1			1.95	0.30
40年目	H74	0.1463	92.1			1.95	0.29
41年目	H75	0.1407	92.1			1.95	0.27
42年目	H76	0.1353	92.1			1.95	0.26
43年目	H77	0.1301	92.1			1.95	0.25
44年目	H78	0.1251	92.1			1.95	0.24
45年目	H79	0.1203	92.1			1.95	0.24
46年目	H80	0.1157	92.1			1.95	0.23
47年目	H81	0.1112	92.1			1.95	0.22
48年目	H82	0.1069	92.1			1.95	0.21
49年目	H83	0.1028	92.1	-20.25	-2.08	1.95	0.20
合計				267.35	315.77	95.69	29.33

単純事業費計		287.60	95.69
--------	--	--------	-------

注1)事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 笠岡バイパス(残事業)

採用単価の根拠 一般国道(雪寒費含む)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.12	7.6	0.91

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H26	0.9615	92.1	1.43	1.37		
-7年目	H27	0.9246	92.1	8.32	7.69		
-6年目	H28	0.8890	92.1	12.08	10.74		
-5年目	H29	0.8548	92.1	13.95	11.93		
-4年目	H30	0.8219	92.1	7.59	6.24		
-3年目	H31	0.7903	92.1	26.37	20.84		
-2年目	H32	0.7599	92.1	25.82	19.62		
-1年目	H33	0.7307	92.1	21.30	15.56		
暫定供用年	H34	0.7026	92.1	0.95	0.67	0.36	0.25
1年目	H35	0.6756	92.1	4.76	3.22	0.36	0.24
2年目	H36	0.6496	92.1	9.52	6.19	0.36	0.24
3年目	H37	0.6246	92.1	1.93	1.21	0.36	0.23
供用開始年次	H38	0.6006	92.1			0.87	0.52
5年目	H39	0.5775	92.1			0.87	0.50
6年目	H40	0.5553	92.1			0.87	0.48
7年目	H41	0.5339	92.1			0.87	0.46
8年目	H42	0.5134	92.1			0.87	0.45
9年目	H43	0.4936	92.1			0.87	0.43
10年目	H44	0.4746	92.1			0.87	0.41
11年目	H45	0.4564	92.1			0.87	0.40
12年目	H46	0.4388	92.1			0.87	0.38
13年目	H47	0.4220	92.1			0.87	0.37
14年目	H48	0.4057	92.1			0.87	0.35
15年目	H49	0.3901	92.1			0.87	0.34
16年目	H50	0.3751	92.1			0.87	0.33
17年目	H51	0.3607	92.1			0.87	0.31
18年目	H52	0.3468	92.1			0.87	0.30
19年目	H53	0.3335	92.1			0.87	0.29
20年目	H54	0.3207	92.1			0.87	0.28
21年目	H55	0.3083	92.1			0.87	0.27
22年目	H56	0.2965	92.1			0.87	0.26
23年目	H57	0.2851	92.1			0.87	0.25
24年目	H58	0.2741	92.1			0.87	0.24
25年目	H59	0.2636	92.1			0.87	0.23
26年目	H60	0.2534	92.1			0.87	0.22
27年目	H61	0.2437	92.1			0.87	0.21
28年目	H62	0.2343	92.1			0.87	0.20
29年目	H63	0.2253	92.1			0.87	0.20
30年目	H64	0.2166	92.1			0.87	0.19
31年目	H65	0.2083	92.1			0.87	0.18
32年目	H66	0.2003	92.1			0.87	0.17
33年目	H67	0.1926	92.1			0.87	0.17
34年目	H68	0.1852	92.1			0.87	0.16
35年目	H69	0.1780	92.1			0.87	0.15
36年目	H70	0.1712	92.1			0.87	0.15
37年目	H71	0.1646	92.1			0.87	0.14
38年目	H72	0.1583	92.1			0.87	0.14
39年目	H73	0.1522	92.1			0.87	0.13
40年目	H74	0.1463	92.1			0.87	0.13
41年目	H75	0.1407	92.1			0.87	0.12
42年目	H76	0.1353	92.1			0.87	0.12
43年目	H77	0.1301	92.1			0.87	0.11
44年目	H78	0.1251	92.1			0.87	0.11
45年目	H79	0.1203	92.1			0.87	0.10
46年目	H80	0.1157	92.1			0.87	0.10
47年目	H81	0.1112	92.1			0.87	0.10
48年目	H82	0.1069	92.1			0.87	0.09
49年目	H83	0.1028	92.1	-0.08	-0.01	0.87	0.09
合計				133.95	105.26	41.40	12.29

単純事業費計		134.03	41.40
--------	--	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:笠岡バypass(事業全体)

様式-5

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽70%)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車種	小型貨物	普通貨物	全 車		① 計	現在価値 ①*(A)*(B)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②*(A)*(B)					
暫定供用年	H25																	
1年目	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	92.1	0.7026	92.1	19.27	54.53	38.32	3.51	0.95	6.29	10.75	7.55	5.16	70.45
2年目	H35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	92.1	0.6756	92.1	19.21	54.89	37.08	3.50	0.94	6.38	10.83	7.31	5.16	70.88
3年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	92.1	0.6496	92.1	19.16	55.25	35.89	3.49	0.94	6.48	10.91	7.09	5.16	71.32
供用開始年次	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	92.1	0.6246	92.1	19.10	55.61	34.73	3.48	0.93	6.57	10.99	6.86	5.16	71.76
5年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	92.1	0.6006	92.1	20.42	61.43	36.89	3.65	0.96	6.87	11.48	6.90	5.45	78.36
6年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	92.1	0.5775	92.1	20.36	61.33	35.71	3.64	0.96	6.97	11.57	6.68	5.45	78.84
7年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	92.1	0.5553	92.1	20.31	62.23	34.56	3.63	0.95	7.07	11.65	6.47	5.45	79.33
8年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	92.1	0.5339	92.1	20.25	62.63	33.44	3.62	0.95	7.17	11.73	6.26	5.44	79.81
9年目	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	92.1	0.5134	92.1	20.19	62.5	32.36	3.61	0.94	7.27	11.81	6.07	5.44	80.29
10年目	H43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	92.1	0.4936	92.1	20.03	62.88	31.04	3.58	0.93	7.27	11.79	5.82	5.41	80.08
11年目	H44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	92.1	0.4746	92.1	19.88	62.72	29.77	3.55	0.93	7.28	11.76	5.58	5.38	79.87
12年目	H45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	92.1	0.4564	92.1	19.72	62.57	28.56	3.53	0.92	7.29	11.74	5.36	5.35	79.65
13年目	H46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	92.1	0.4388	92.1	19.57	62.41	27.39	3.50	0.91	7.30	11.71	5.14	5.32	79.44
14年目	H47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	92.1	0.4220	92.1	19.41	62.26	26.27	3.47	0.91	7.31	11.69	4.93	5.29	79.23
15年目	H48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	92.1	0.4057	92.1	19.26	62.10	25.20	3.44	0.90	7.32	11.66	4.73	5.26	79.02
16年目	H49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	92.1	0.3901	92.1	19.10	61.95	24.17	3.41	0.89	7.33	11.63	4.54	5.22	78.80
17年目	H50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	92.1	0.3751	92.1	18.95	61.79	23.18	3.39	0.89	7.33	11.61	4.35	5.19	78.59
18年目	H51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	92.1	0.3607	92.1	18.79	61.63	22.23	3.36	0.88	7.34	11.58	4.18	5.16	78.38
19年目	H52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	92.1	0.3468	92.1	18.64	61.48	21.32	3.33	0.87	7.35	11.56	4.01	5.13	78.16
20年目	H53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	92.1	0.3325	92.1	18.48	61.32	20.45	3.30	0.87	7.36	11.53	3.85	5.10	77.95
21年目	H54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	92.1	0.3205	92.1	18.33	61.17	19.61	3.28	0.86	7.37	11.51	3.69	5.07	77.74
22年目	H55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	92.1	0.3083	92.1	18.17	60.99	18.81	3.25	0.86	7.38	11.48	3.54	5.04	77.53
23年目	H56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	92.1	0.2965	92.1	18.02	60.85	18.04	3.22	0.85	7.38	11.45	3.40	5.00	77.31
24年目	H57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	92.1	0.2851	92.1	17.86	60.70	17.30	3.19	0.84	7.39	11.43	3.26	4.97	77.10
25年目	H58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	92.1	0.2741	92.1	17.71	60.54	16.59	3.17	0.84	7.40	11.40	3.13	4.94	76.89
26年目	H59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	92.1	0.2636	92.1	17.55	60.39	15.92	3.14	0.83	7.41	11.38	3.00	4.91	76.67
27年目	H60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	92.1	0.2534	92.1	17.40	60.23	15.26	3.11	0.82	7.42	11.35	2.88	4.88	76.46
28年目	H61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	92.1	0.2437	92.1	17.24	60.08	14.64	3.08	0.82	7.43	11.32	2.76	4.85	76.25
29年目	H62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	92.1	0.2343	92.1	17.09	59.92	14.04	3.05	0.81	7.44	11.30	2.65	4.82	76.04
30年目	H63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	92.1	0.2253	92.1	16.93	59.76	13.46	3.03	0.80	7.44	11.27	2.54	4.78	75.82
31年目	H64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	92.1	0.2166	92.1	16.77	59.61	12.91	3.00	0.80	7.45	11.25	2.44	4.75	75.61
32年目	H65	0.99075	0.99183	1.0011														

便益の現在価値算定表

箇所名:笠岡バイパス(残事業)

様式-5

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽70%)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合 計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車		① 計	現在価値 ①*(A)*(B)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②*(A)*(B)	③	現在価値 ③*(A)*(B)				
暫定供用年	H25																		
1年目	H34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.7026	92.1	15.87	5.17	27.03	33.77	2.78	0.79	5.57	9.13	6.42	4.62	3.25	61.83
2年目	H35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6756	92.1	15.82	5.14	27.45	32.70	2.77	0.78	5.65	9.21	6.22	4.62	3.12	62.24
3年目	H36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6496	92.1	15.77	5.11	27.86	31.67	2.77	0.78	5.74	9.28	6.03	4.62	3.00	62.65
依用開始年次	H37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.6246	92.1	15.73	5.08	28.27	30.66	2.76	0.77	5.82	9.35	5.84	4.62	2.89	63.06
5年目	H38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.6006	92.1	17.06	5.63	32.20	32.96	2.93	0.80	6.11	9.84	5.91	4.91	2.95	63.63
6年目	H39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5775	92.1	17.01	5.59	32.66	31.92	2.92	0.78	6.19	9.91	5.72	4.90	2.83	70.08
7年目	H40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5553	92.1	16.96	5.56	33.13	30.90	2.91	0.79	6.28	9.99	5.55	4.90	2.72	70.54
8年目	H41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.5339	92.1	16.91	5.52	33.59	29.91	2.90	0.79	6.37	10.06	5.37	4.90	2.62	70.99
9年目	H42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.5134	92.1	16.86	5.49	34.06	28.96	2.89	0.78	6.46	10.14	5.20	4.90	2.52	71.45
10年目	H43	0.99707	0.99380	1.01364	0.99988	0.4936	92.1	16.73	5.45	34.10	27.78	2.87	0.78	6.47	10.12	4.99	4.87	2.41	71.27
11年目	H44	0.99707	0.99376	1.01344	0.99988	0.4746	92.1	16.60	5.41	34.14	26.65	2.85	0.77	6.47	10.10	4.79	4.85	2.30	71.10
12年目	H45	0.99707	0.99372	1.01324	0.99988	0.4564	92.1	16.47	5.38	34.18	25.57	2.83	0.77	6.48	10.08	4.60	4.82	2.20	70.92
13年目	H46	0.99707	0.99368	1.01304	0.99988	0.4388	92.1	16.34	5.34	34.22	24.53	2.81	0.76	6.49	10.06	4.41	4.79	2.10	70.75
14年目	H47	0.99707	0.99364	1.01284	0.99988	0.4220	92.1	16.21	5.30	34.26	23.53	2.78	0.76	6.50	10.04	4.23	4.76	2.01	70.57
15年目	H48	0.99707	0.99360	1.01264	0.99988	0.4057	92.1	16.08	5.26	34.30	22.58	2.76	0.75	6.50	10.02	4.06	4.73	1.92	70.39
16年目	H49	0.99707	0.99356	1.01244	0.99988	0.3901	92.1	15.96	5.22	34.34	21.66	2.74	0.75	6.51	10.00	3.90	4.70	1.84	70.22
17年目	H50	0.99707	0.99352	1.01224	0.99988	0.3751	92.1	15.83	5.19	34.38	20.78	2.72	0.74	6.52	9.98	3.74	4.68	1.75	70.04
18年目	H51	0.99707	0.99348	1.01204	0.99988	0.3607	92.1	15.70	5.15	34.42	19.93	2.69	0.74	6.53	9.96	3.59	4.65	1.68	69.86
19年目	H52	0.99707	0.99344	1.01184	0.99988	0.3468	92.1	15.57	5.11	34.46	19.12	2.67	0.73	6.54	9.94	3.45	4.62	1.60	69.69
20年目	H53	0.99707	0.99340	1.01164	0.99988	0.3335	92.1	15.44	5.07	34.50	18.34	2.65	0.72	6.54	9.92	3.31	4.59	1.53	69.51
21年目	H54	0.99707	0.99336	1.01144	0.99988	0.3207	92.1	15.31	5.03	34.54	17.60	2.63	0.72	6.55	9.90	3.17	4.56	1.46	69.33
22年目	H55	0.99707	0.99332	1.01124	0.99988	0.3083	92.1	15.18	5.00	34.57	16.88	2.61	0.71	6.56	9.87	3.04	4.53	1.40	69.16
23年目	H56	0.99707	0.99328	1.01104	0.99988	0.2965	92.1	15.05	4.96	34.61	16.19	2.58	0.71	6.57	9.85	2.92	4.51	1.34	68.98
24年目	H57	0.99707	0.99324	1.01084	0.99988	0.2851	92.1	14.92	4.92	34.65	15.53	2.56	0.70	6.57	9.83	2.80	4.48	1.28	68.81
25年目	H58	0.99707	0.99320	1.01064	0.99988	0.2741	92.1	14.79	4.88	34.69	14.90	2.54	0.70	6.58	9.81	2.69	4.45	1.22	68.63
26年目	H59	0.99707	0.99316	1.01044	0.99988	0.2636	92.1	14.66	4.84	34.73	14.29	2.52	0.69	6.59	9.79	2.58	4.42	1.17	68.45
27年目	H60	0.99707	0.99312	1.01024	0.99988	0.2534	92.1	14.53	4.81	34.77	13.71	2.49	0.69	6.59	9.77	2.48	4.39	1.11	68.28
28年目	H61	0.99707	0.99308	1.01004	0.99988	0.2437	92.1	14.40	4.77	34.81	13.15	2.47	0.68	6.60	9.75	2.38	4.37	1.06	68.10
29年目	H62	0.99707	0.99304	1.00984	0.99988	0.2343	92.1	14.27	4.73	34.85	12.62	2.45	0.68	6.61	9.73	2.28	4.34	1.02	67.92
30年目	H63	0.99707	0.99300	1.00964	0.99988	0.2253	92.1	14.14	4.69	34.89	12.10	2.43	0.67	6.62	9.71	2.19	4.31	0.	

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	笠岡バイパス	4/4	7.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	21,589	
	改良費			式	1	10,832
		土工	m3	451,190	2,917	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3	756,000	5,670	
		法面工	m ²	134,670	191	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	1,147	逆T式擁壁、補強土壁
		函渠工	m	367	543	
		排水工	m	4,740	43	
		中央分離帯工	m	6,750	304	
		雑工	式	1	18	工事用道路等
	橋梁費			式	1	7,740
		100m以上	m	2,280	7,231	PC橋(4橋)、ME橋(8橋)
		100m未満	m	180	509	PC橋(2橋)
	トンネル費			式	1	0
		NATM	m	0	0	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費			式	1	767
		IC	箇所	3	767	ダイヤモンド型(3箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費			式	1	1,678
		車道舗装	m ²	148,000	1,658	
		歩道舗装	m ²	7,284	21	
	附帯施設費			式	1	571
		交通管理施設工	式	1	571	標識工、防護柵工、道路照明工等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及び補償費			式	1	2,901	
	用地費			式	1	2,025
		宅地	m ²	318,500	1,301	
		田畑	m ²	24,400	330	
		山林・原野	m ²	61,000	394	
	補償費			式	1	876
③間接経費			式	1	5,510	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					30,000	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する。
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	笠岡バイパス	4/4	7.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費			式	1	11,981	
	改良費			式	1	3,650
		土工	m3	443,790	2,499	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m3	0	0	
		法面工	m ²	128,910	187	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	444	逆T式擁壁、補強土壁
		函渠工	m	290	521	
		排水工	m	1,840	17	
		中央分離帯工	m	6,750	304	
		雑工	式	1	9	工事用道路等
	橋梁費			式	1	5,951
		100m以上	m	1,478	5,442	PC橋(4橋)、ME橋(4橋)
		100m未満	m	180	509	PC橋(2橋)
	トンネル費			式	1	0
		NATM	m	0	0	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費			式	1	767
		IC	箇所	3	767	ダイヤモンド型(3箇所)
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費			式	1	1,194
		車道舗装	m ²	106,175	1,173	
		歩道舗装	m ²	7,284	21	
	附帯施設費			式	1	420
		交通管理施設工	式	1	420	標識工、防護柵工、道路照明工等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及び補償費			式	1	14	
	用地費			式	1	8
		宅地	m ²	1,500	4	
		田畑	m ²	0	0	
		山林・原野	m ²	218	4	
	補償費			式	1	6
③間接経費			式	1	2,076	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					14,072	

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する。
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	笠岡バイパス	4	7.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.6	1,181	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	8,866	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			10,047	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道2号	笠岡バイパス	4	7.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.6	0	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	4,347	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,347	